

Hondaナビゲーションシステム 取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズHDDナビコンポ

VXH-079CV

クイックガイド編



MP3 WMA



MAGICGATE

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
ご購入いただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合の一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買いあげの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

※取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

1 安全にお使いいただくために

本書は、ナビゲーションシステムおよびオーディオの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱説明書と併せてお読みください。

●安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を下記の表示で記載し、その危険性や回避方法を説明しています。これらは重要ですので、必ずお読みください。

 危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
 注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

●その他の表示

 **お知らせ**
操作に関するお知らせです。

 **アドバイス**
使いこなすためのアドバイスです。

 **お願い**
お車のために守っていただきたいことです。

製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。やさしい取り扱いをお願いします。

3 安全上のご注意

⚠ 警告

- TVを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



⚠ 注意

- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。前方不注意となり事故の原因となります。
- 運転者は走行中に音量調整などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中にディスクの切り替えをしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者がTVやビデオなどを見る時は必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを使用してください。TVやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。
- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ディスクおよび“メモリースティック”差し込み口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。

安全上のご注意

⚠ 注意

- 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 電源 ON 時は、ボリュームに注意してください。電源 ON 時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ディスクおよび“メモリースティック”差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。



お願い

- 目的地（自宅）への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。
- 安全のため、走行中に操作できない機能があります。画面に「走行中は安全のため操作できません。」等のメッセージが出ますので、安全な場所に停車して操作してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起これば、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 本機および HDD（ハードディスクドライブ）を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 音声割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規則にしたがって廃棄してください。
- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。



お願い

- 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。
- ナビゲーションシステムは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をする場合があります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。



お知らせ

- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。
 - 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD及びDVD読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは1時間ほどそのままの状態に放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
 - 初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置が修正されます。
 - 本機は精密機器であり、静電気、電氣的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買いあげ後、お客様が本機に記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとるなどして保管してください。
 - なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。
 - ① 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電氣的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータ等が変化・消失した場合。
 - ② お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、ハードディスクドライブ内の地図データや基本プログラム、お客様が本機に記録されたデータ等が変化・消失した場合。
 - ③ 本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータ等が変化・消失した場合。
- ※なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。
- 本機は他の電装品からの電氣的ノイズに対して影響を受けにくい構造になっておりますが、強力なノイズを発生する電装品があり、本機のそばで使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電装品の使用をやめてください。

簡単にオーディオソースを切り替える

オーディオ・DVD・TV・VTR 操作画面から簡単に SOURCE MENU 画面を表示することができます。

- 1 オーディオ・DVD・TV・VTR 操作画面で、SOURCE MENU 呼び出しスイッチにタッチします。
- SOURCE MENU 画面が表示されます。



- 2 **AM** (お好みのソーススイッチ) にタッチします。
- AM の操作画面が表示されます。
 - **▲** にタッチすると、もとの操作画面にもどります。



操作画面

操作する画面を表示しています。

操作スイッチ

操作に必要なスイッチを示しています。

セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

5 目次

お使いになる前に

安全にお使いいただくために	1
取扱説明書の構成	2
このような順に各取扱説明書をご利用ください	2
安全上のご注意	3
本書の見方	6
目次	8

はじめに

各部の名称	12
パネルスイッチについて	12
タッチスイッチについて	13
電源の入れ方・切り方	14
電源の入れ方・切り方について	14
ディスク・“メモリースティック”の出し入れ	15
CD、DVD、“メモリースティック”の入れ方・出し方について	15
ディスプレイの角度調整	25
ディスプレイを好みの角度に調整しよう	25
本機のモードについて	27
各モードについて理解しよう	27
本機の作動条件について	28
各機能の作動状態について	28
各モードの呼び出し	29
各モードを呼び出してみよう	29

ナビゲーション

地図の操作	30
自分の車の位置を確認しよう	30
地図を動かしてみよう（ワンタッチスクロール）	31
地図の縮尺を変えてみよう	32
地図の向きを変えてみよう	33
地図の表示方法を変えてみよう	34
地図にいろいろな施設のマークを表示しよう	36

場所の登録	37
自宅を登録しておこう	37
お気に入りの場所を登録しよう	43
新しい建物などを施設のマークで登録しよう	49
ルート案内について	53
ルート案内を開始するには	53
ルートの探索（行き先を指定）	54
行き先を決めてルート探索をしよう	54
地図を移動して探すには	55
自宅に帰るには	56
主要施設から探すには	57
電話番号から探すには	59
ルートの設定	62
希望のルートを設定しよう	62
ルートの道のりを確認しよう	64
ほかのルートを選んでみよう	65
ルートの途中に立ち寄り場所を追加してみよう	66
ルート案内	68
ルートの案内について	68
ルート案内に沿って車をスタートしよう	72
案内を途中で中止・再開しよう	73
行き先を消去しよう	74
情報機能の操作	75
情報機能进行操作しよう	75
VICS 機能の操作	77
渋滞情報を確認するには（VICS 機能）	77
VICS の周波数を合わせよう	78
文字・図形情報を表示しよう	80
地図に VICS 情報を表示しよう	82

目次

ナビゲーション

その他の設定	86
お車の情報(ナンバープレートの分類、車両寸法)を登録しよう.....	86
ナビゲーションの画面に時計を表示するには.....	88
ナビゲーションの音量を調整しよう.....	90
ナビゲーションの画面を消すには.....	91
現在地を補正するには.....	92

オーディオ

オーディオソースの切り替え	98
オーディオのソースを切り替えよう.....	98
ラジオの操作	102
ラジオを聞くには.....	102
CD・MP3/WMA の操作	104
CD・MP3/WMA ファイルを聞くには.....	104
“メモリースティック” プレーヤーの操作	107
“メモリースティック”内の音楽データを聞くには.....	107
MUSIC RACK の操作	109
MUSIC RACK について.....	109
MUSIC RACK に録音するには.....	114
MUSIC RACK を聞くには.....	116
自分だけのアルバムリストを作成してみよう.....	119
TV の操作	124
TV を見るには.....	124
DVD の操作	127
DVD ビデオを見るには.....	127
音質の調整	130
音質を調整しよう.....	130
その他の設定	134
スイッチの操作音(“ピッ”)を変えてみよう.....	134
画面の表示サイズを切り替えよう.....	135

デュオビジョン

デュオビジョンの操作	137
デュオビジョンについて	137
2種類の画面を同時に表示しよう.....	138
助手席操作モードを作動しよう	139

ご参考に

バッテリーの交換時	140
バッテリーを交換したときは	140
お手入れについて	141
本機やアンテナのお手入れについて	141
本機をおゆずりになるときは	142
登録した内容の消去について	142
仕様について	144
各仕様	144

1 各部の名称

本機はパネルに配置しているスイッチ（パネルスイッチ）を押したり、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）を直接タッチして操作します。

■ パネルスイッチについて

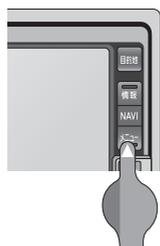
左右のパネルスイッチを押して操作します。



① REC スイッチ	再生中の音楽を録音するときや録音を停止するときに押します。
② SOURCE スイッチ	オーディオのメニュー画面を表示して各オーディオモードを切り替えるときに押します。
③ 表示スイッチ	オーディオ・TV の操作画面を表示するときに押します。画質を調整するときに長押し（1秒以上）します。
④ DUO VISION スイッチ	デュオビジョンを切り替えるときや、助手席操作モードを切り替えるときに押します。
⑤ TUNE / TRACK スイッチ	TV・ラジオの選局、音楽用 CD の選曲、DVD のチャプター選択をするときに押します。
⑥ ▲ / TILT スイッチ	ディスプレイを開くときや、画面の角度調整をするときに押します。
⑦ 目的地スイッチ	ナビゲーションで目的地を設定するときに押します。
⑧ 情報スイッチ	各情報機能やいろいろな設定をするときに押します。
⑨ メニュースイッチ	ナビゲーションのメニュー画面を表示するときに押します。
⑩ 現在地スイッチ	ナビゲーション画面 / 現在地を表示するときに押します。
⑪ VOL スイッチ	オーディオ・TV の音量を調整するときに押します。
⑫ 〻 / POWER スイッチ	オーディオ・TV の電源を入れるときや、切るときに押します。*

*別売のフロント／コーナーカメラ接続時に押すと、フロント／コーナーカメラの映像を表示します。長押し（1秒以上）すると、オーディオ・TV の電源を入れたり、切ったりすることができます。

■ メニュー を押すと



メニュー画面が表示されます。

ピッ

タッチスイッチについて

画面のスイッチにタッチして操作します。



タッチスイッチ



ピッ



ピッ

【タッチスイッチの操作について】

- タッチスイッチは“ピッ”という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。
- スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチの色が明るくなるものもあります。

■ **OFF** にタッチすると



ピッ



タッチスイッチの表示が消えます。

ON にタッチするとタッチスイッチが表示されます。



お願い

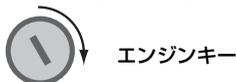
タッチスイッチは指でタッチしてください。
ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。

2 電源の入れ方・切り方

電源の入れ方・切り方について

本機は、車のエンジンをかけると自動的にオーディオ・TVの電源が入り、ナビゲーションの画面、TVの画面※、またはDVDビデオの画面※を表示します。エンジンを切ると電源も切れます。

※…前回、TV、またはDVDビデオをご覧になっている途中でエンジンを切った場合はTV、またはDVDビデオの画面を表示します。



エンジンキー



〈オープニング画面〉

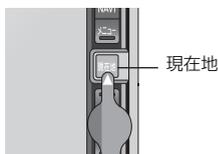
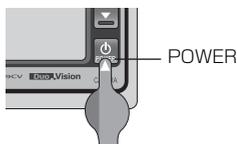


〈ナビゲーション画面〉



お知らせ

- 内蔵のハードディスクに地図データを収録していますので、地図ディスクは必要ありません。
- ナビゲーションの画面が表示されないときは、**現在地** を押してください。
- オーディオ、またはTVの電源が入らないときは、**電源/POWER** を押してください。再度、**電源/POWER** を押すとオーディオ、またはTVの電源が切れます。
- ナビゲーションの電源は切ることができません。



3 ディスク・“メモリースティック” の出し入れ

CD、DVD、“メモリースティック” の入れ方・出し方について

音楽をお聴きになるときは、音楽 CD、または“メモリースティック”を、DVD ビデオを再生するときは DVD ビデオを各差し込み口に入れてください。

各ディスク (DVD・CD) および“メモリースティック” の入れ方

- 1 ▲/TILT を押します。



■ ディスクを1枚だけ差し込む場合

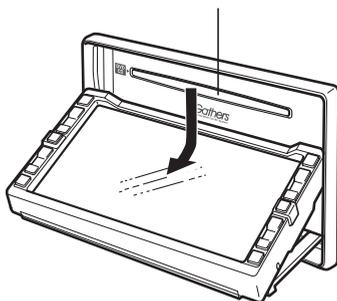
- 2 **LOAD** にタッチします。

- ディスクが差し込める位置までディスプレイ部が開きます。
- LOAD インジケータが赤色に点灯し、ディスク差し込み準備状態になります。
- 15 秒間ディスクが差し込まれない場合は、ディスプレイ部は自動で閉じます。



LOAD インジケータ

DVD、または CD 差し込み口

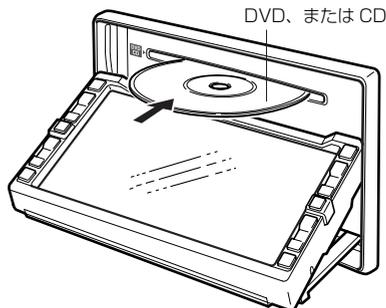


🔊 お知らせ

ディスプレイを開けたままエンジンスイッチを 0 (OFF) にすると、操作音を鳴らして、お知らせします。このとき ▲/TILT を約 1 秒間“ピッ”と音がするまで押すとディスプレイ部を閉じることができます。

ディスク・“メモリースティック” の出し入れ

3 差し込み口に希望のディスクを差し込みます。



- DVD および CD は、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にして差し込んでください。
- 空いている収納位置の中で、一番小さい番号の位置に収納されます。

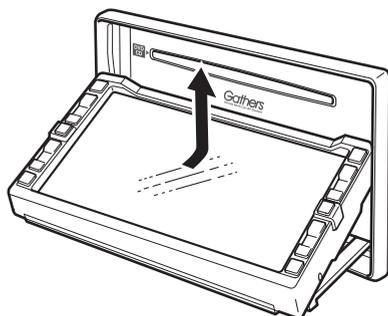


お願い

- 地図ディスク (DVD-ROM) は使用できませんので差し込まないでください。
- 8cmCD を差し込むときは同梱の 8cm アダプタをご使用ください。(詳しくは同梱の説明書をお読みください。)
- 8cmDVD は再生できません。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

- 4 各ディスクが奥まで差し込まれたことを確認してから **CLOSE** にタッチします。

- ディスプレイ部が閉じます。
- ▲/TILT を約 1 秒間 “ピッ” と音がするまで押してもディスプレイ部は閉じます。
- 15 秒間ディスクが差し込まれない場合は、ディスプレイ部は自動で閉じます。



- DVD を差し込んだときは DVD ビデオの再生が始まります。
- CD を差し込んだときは音楽 CD、または MP3/WMA の再生が始まります。

お知らせ

本機の初期の設定では、音楽 CD を再生すると自動で MUSIC RACK に録音が始まります。録音を中止するには、ディスプレイ部を閉じて（上記④）から **REC** を 1 秒以上押してください。（詳しくは、「MUSIC RACK の操作」109 ページを参照してください。）

お願い

各ディスクの差し込み途中に **CLOSE**、または ▲/TILT を押さないでください。

ディスク・“メモリースティック” の出し入れ

■ ディスクを連続で差し込む場合

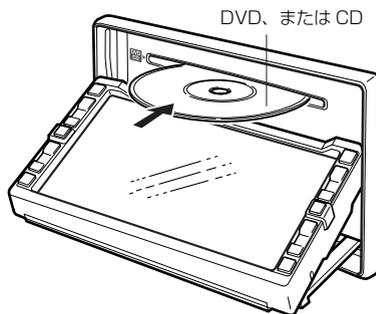
2 **LOAD** にタッチします。

- ディスクが差し込める位置までディスプレイ部が開きます。
- LOAD インジケータが赤色に点灯し、ディスク差し込み準備状態になります。



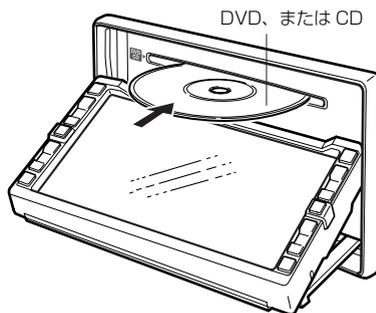
3 差し込み口に 1 枚目のディスクを差し込みます。

- DVDおよびCDは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にして差し込んでください。
- LOAD インジケータが赤色に点灯します。



4 差し込み口に次のディスクを差し込みます。

- 最大4枚までディスクを差し込むことができます。
- 空いている収納位置の中で、一番小さい番号の位置から順に収納されます。
- ディスクが4枚差し込まれると、ディスプレイ部は自動で閉じます。

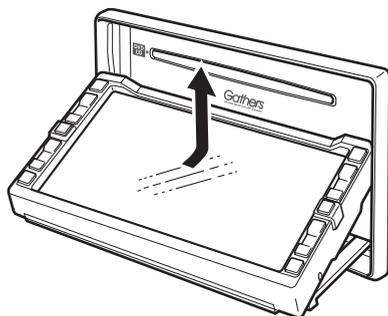


お願い

- ディスクを重ねて差し込まないでください。
- 無理にディスクを差し込まないでください。

- 5 ディスクが3枚以下の場合、各ディスクが奥まで差し込まれたことを確認してから **CLOSE** にタッチします。

- ディスプレイ部が閉じます。
- **▲/TILT** を約1秒間“ピッ”と音がするまで押してもディスプレイ部は閉じます。
- 15秒間ディスクが差し込まれない場合は、ディスプレイ部は自動で閉じます。



- 連続してディスクを差し込んだ場合は、最後に差し込んだディスクの再生が始まりません。

お知らせ

本機の初期の設定では、音楽CDを再生すると自動でMUSIC RACKに録音が始まります。録音を中止するには、ディスプレイ部を閉じて(上記5)から**REC**を1秒以上押してください。(詳しくは、「MUSIC RACKの操作」109ページを参照してください。)

お願い

- 地図ディスク(DVD-ROM)は使用できませんので差し込まないでください。
- 8cmCDを差し込むときは同梱の8cmアダプタをご使用ください。(詳しくは同梱の説明書をお読みください。)
- 8cmDVDは再生できません。
- 各ディスクの差し込み途中で**CLOSE**、または**▲/TILT**を押さないでください。

ディスク・“メモリースティック” の出し入れ

■ “メモリースティック” を差し込む場合

2 ▲ MEMORY STICK OPEN にタッチします。

- ディスプレイ部が開きます。
- ▲/TILT を約 1 秒間 “ピッ” と音がするまで押してもディスプレイ部は開きません。

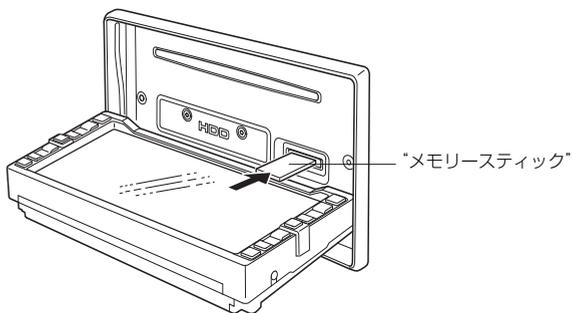


3 差し込み口に “メモリースティック” を差し込みます。

- MEMORY STICK インジケータが橙色に点灯します。



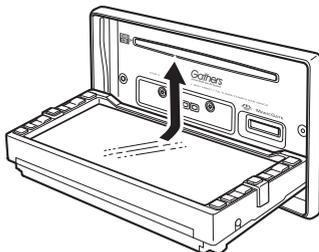
MEMORY STICK インジケータ



- “メモリースティック” は ▶ マークを奥にして、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。（“メモリースティック”が数mmほど飛び出した状態になります。）
- “メモリースティック Duo” を差し込むときは、必ず“メモリースティック Duo” アダプターを取り付けてから差し込んでください。（“メモリースティック Duo” のみを差し込むと取り出せないことがあります。）

- 4 “メモリスティック” が奥まで差し込まれたことを確認してから **CLOSE** にタッチします。

- ディスプレイ部が閉じます。
- ▲/TILT を約 1 秒間“ピッ”と音がするまで押し続けてもディスプレイ部は閉じます。



👉 お願い

- “メモリスティック” の差し込み途中で **CLOSE**、または ▲/TILT を押さないでください。
- “メモリスティック”、“マジックゲート メモリスティック” 再生中、画像データ読み込み中、およびフォーマット中は、絶対に取り出さないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

■ DVDについて

- 下記のマークの付いた DVD ビデオディスクが再生できます。また、DVD-R/RW (DVD-Recordable/ReWritable) は、ビデオモードで書き込まれたディスクのみ再生できます。ビデオレコーディング (VR) モードで書き込まれたディスクは再生できません。



- DVD ビデオディスクによっては一部の機能が使用できない場合があります。
- DVD-R/RW (DVD-Recordable/ReWritable) は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていない DVD-R/RW は再生できません。
- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。

■ CDについて

- 下記のマークの付いた音楽用 CD や CD-R (CD-Recordable)、CD-RW (CD-ReWritable) が使用できます。(詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「ご使用になる前に」を参照してください。)



- 記憶部分に透明または半透明部分がある CD、C-thru Disc は、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。

ディスク・“メモリースティック” の出し入れ


お願い

- CD-R/RW は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていない CD-R/RW や UDF フォーマットで書き込みされた CD-R/RW は再生できません。(MP3/WMA は除く)
- CD-TEXT 機能は市販の CD-TEXT 対応 CD のみ対応しています。CD-R や CD-RW では文字が正常に表示されない場合があります。
- CDDA (Copy Control CD) は正式な CD 規格に準拠していないため再生できない場合があります。



- スーパーオーディオ CD (SACD) は、ハイブリッドディスクの CD 層のみ再生できます。



- CD-EXTRA は音楽 CD として再生することができます。
- Mixed Mode CD のデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTS が混在の Mixed Mode CD は正常に再生されません。
- Video-CD は再生できません。

■ “メモリースティック” について

- 下記のマークの付いた “メモリースティック”、“メモリースティック Duo”、または “マジックゲートメモリースティック” が使用できます。(詳しくは「取扱説明書オーディオ編」- 「ご使用になる前に」を参照してください。)



画像用

MAGIC GATE

音楽および画像用

- 使用できる “メモリースティック” は下記になります。
 - ・メモリースティック (白色)
 - ・メモリースティック Duo (白色) ※1
 - ・メモリースティック (紺色：高速データ転送対応) ※2
 - ・メモリースティック Duo (紺色：高速データ転送対応) ※1・※2
- ※1 “メモリースティック Duo” を使用する場合は “メモリースティック Duo” アダプターを使用してください。
- ※2 高速データ転送 (パラレル) モードには対応していません。(従来の “メモリースティック” (白色) 互換の転送モードになります。)
- “メモリースティック PRO” には対応していません。
- 128MB までの容量の各 “メモリースティック” に対応しています。
- “マジックゲートメモリースティック” のフォーマット (初期化) は、本機、または専用機器で行ってください。本機、または専用機器以外でフォーマットを行った場合、再生できません。
- “メモリースティック”、または “マジックゲートメモリースティック” はご使用時以外、必ず本機から取り出してください。
- “Memory Stick” (“メモリースティック”)  および “MagicGate Memory Stick” (“マジックゲートメモリースティック”)  はソニー株式会社の登録商標です。

各ディスク（DVD・CD）および“メモリースティック”の出し方

- 1 ▲/TILT を押します。



- 2 ● ディスクを取り出すときは、取り出したいディスク No. の取り出しスイッチにタッチします。
（自動でディスクが押し出されます。）
- “メモリースティック”を取り出すときは、**▲ MEMORY STICK OPEN** にタッチして、“メモリースティック”を軽く押して（1回）取り出します。



- **▲ALL** にタッチすると、差し込まれているディスクを全て取り出すことができます。
- 3 取り出し後、**CLOSE** にタッチします。
- ▲/TILT を約1秒間“ピッ”と音がするまで押してもディスプレイ部は閉じます。

お知らせ

- ディスプレイ部を開けたままエンジンスイッチをOFFにすると、操作音を鳴らしてお知らせします。このとき、▲/TILT を約1秒間“ピッ”と音がするまで押すとディスプレイ部を閉じることができます。
- **▲ALL** にタッチして全てのディスクを排出しているときにエンジンスイッチをOFFにすると、排出中のディスクのみ取り出すことができます。その他のディスク（まだ差し込まれているディスク）は取り出すことができません。

ディスク・“メモリースティック” の出し入れ



お願い

- 各ディスク、または“メモリースティック”を取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ディスプレイ部を手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、各ディスクや“メモリースティック”を出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

4 ディスプレイの角度調整

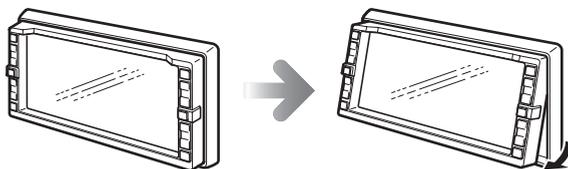
ディスプレイを好みの角度に調整しよう

- 1 ▲/TILT を押します。



- 2 TILT ▼、または TILT ▲ にタッチします。

- TILT ▼ にタッチするごとにディスプレイが斜め下方に 1 段階 (5°) ずつ傾きます。(最大 6 段階 (30°))
- TILT ▲ にタッチするごとにディスプレイが傾いた状態から 1 段階 (5°) ずつもどります。



- 3 調整後、▲/TILT を押します。

お知らせ

- ディスプレイ部を傾けた状態でも、ディスプレイ部を開くことができます。ディスプレイ部を閉じると、元の傾いた状態にもどります。
- ディスプレイ部を傾けた状態でエンジンスイッチを 0 (OFF) にすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) にしたときは、元の傾いた状態にもどります。

ディスプレイの角度調整

⚠ 注意

- ディスプレイ部の角度調整をするときは手などをはさまないように注意してください。けがの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。
- ディスプレイがTILT状態のときに上部、または下部のすき間からディスクを差し込まないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ディスプレイ部の角度調整時、シフトレバー操作の妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させてからおこなってください。

5 本機のモードについて

各モードについて理解しよう

本機には大きく分けて「GPS ナビゲーション」・「情報」・「オーディオ」の3つのモードがあります。

どのモードからでも、希望のモードに切り替えることができます。



	モード	主な機能
1	GPS ナビゲーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在地の表示 ● 目的地の案内 ● 地点（自宅・メモリ地点）の登録など
2	情報	<ul style="list-style-type: none"> ● FM 多重放送の受信 ● メンテナンス機能 ● 施設情報の検索 ● HDD（ハードディスクドライブ）のデータ管理など ● 自転車マーク選択
3	オーディオ (ラジオ・マルチチェンジャー・ “メモリースティック”・ MUSIC RACK・TV・VTR)	<ul style="list-style-type: none"> ● AM・FM 放送の受信 ● マルチチェンジャーの操作 <ul style="list-style-type: none"> ・ CD の操作 ・ MP3/WMA の操作 ・ DVD の操作 ● 音楽用“メモリースティック”の操作 ● MUSIC RACK の操作 ● TV 放送の受信 ● VTR 映像の表示（オプション）

※ “メモリースティック” はソニー株式会社の登録商標です。

6 本機の作動条件について

各機能の作動状態について

本機の機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置）により、操作できる場合とできない場合があります。

○：操作できます ×：操作できません

各機能	エンジンスイッチ 0 (OFF)	I (ACC)	II 停車中 (ON)	II 走行中 (ON)	ディスプレイが オープン状態
GPS ナビゲーション／情報	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、 操作できなくなる 機能があります	×
オーディオ	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、 操作できなくなる 機能があります	×
FM 多重放送 (FM 多重文字情報)	×	○	○	走行中はご使用に なれません (一部の番組は 操作できます)	×
TV	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、音 声のみになります	×
DVD	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、音 声のみになります	×
ディスクおよび “メモリースティック” の出し入れ／ ディスプレイの角度調整	エンジン OFF 後はディスプレ イ部を閉じ ることができ ます	○	○	○	ディスプレイの 角度調整はでき ません

※ TV / DVD 画面は走行中、安全上の配慮などから音声のみになります。



お知らせ

操作できないスイッチは、色がトーンダウンし、操作できません。また、走行中に操作できないスイッチを操作すると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。

7 各モードの呼び出し

各モードを呼び出してみよう

次のスイッチを押すと各画面に切り替わります。

ナビゲーション画面

現在地 を押します。



情報画面

情報 を押します。



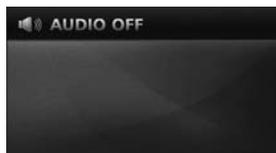
オーディオ操作画面

表示 を押します。(作動時) *1

(OFF 画面) *2



(CD プレーヤー作動時)



*1：オーディオの機能が作動しているときに表示します。オーディオの操作については「オーディオソースの切り替え」(98 ページ) を参照してください。

*2：オーディオの機能が OFF 状態時に表示されます。

オンスクリーン表示について

ナビゲーション画面表示中や画面が消えているときにオーディオまたは TV・DVD を操作(トラック選曲や周波数選局)すると、スクリーンが表示されます。スクリーン表示はしばらくすると自動で解除されます。

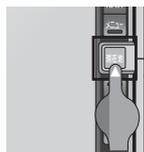


スクリーン表示

1 地図の操作

自分の車の位置を確認しよう

現在地 を押して自分の車の現在地周辺を表示しましょう。



現在地



自転車位置マーク

現在地と車が向いている方向が表示されます。車の走行に合わせて自動的に自転車位置マークと地図が動きます。

現在地画面の見方

スケール表示

表示されている地図の縮尺が表示されます。
 ━━ の長さがこの場合は100mです。

GPS マーク

GPS 衛星からの絶対位置情報が利用されているときに、GPSが表示されます。

GPS 受信状態のとき

方位マーク

地図の方向が表示されます。

現在地の地名

現在地で **現在地** を押すと表示されます。

自転車位置マーク



タッチスイッチ

画面によって各機能のスイッチが表示されます。

地図を動かしてみよう（ワンタッチスクロール）

地図に直接タッチして地図を動かしましょう。



スクロール中

地名表示
画面中心付近の地名が表示されます。



カーソルマーク
地図にタッチすると画面中心にカーソルマークが表示されます。

スクロール画面の見方

地名表示
地図の移動後、カーソルの位置の地名が約6秒間、表示されます。



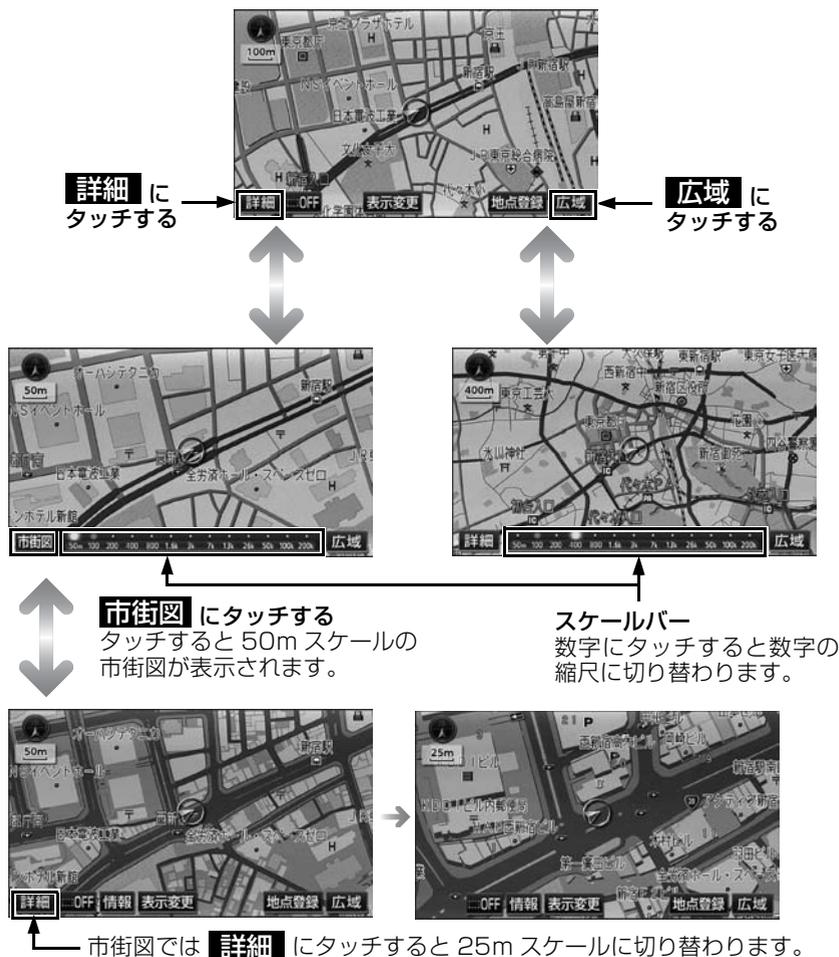
直線距離表示
自転車位置マークからカーソルマーク中心までの直線距離が表示されます。

カーソルマーク
タッチし続けるとカーソルマークが ⊕ (黄色) に変わりスクロールが早くなります。

地図の操作

地図の縮尺を変えてみよう

タッチスイッチの **広域** にタッチすると、広い範囲が表示されます。**詳細** にタッチすると詳しい地図が表示されます。



詳細、**広域** にタッチするごとに 1 段階ずつ切り替わります。

詳細、**広域** を約 1 秒以上タッチし続けると、無段階*に切り替わります。

(※市街図では切り替わりません)

地図の向きを変えてみよう

表示している地図の向きをノースアップ（つねに北が上になるような地図で表示されます）とヘディングアップ（車の進行方向が上になるような地図で表示されます）に切り替えることができます。

方位マーク（、または ）にタッチすると、地図の向きが切り替わります。

ノースアップ表示

方位マーク表示



ヘディングアップ表示

方位マーク表示

北を示します
(赤色)



地図の操作

地図の表示方法を変えてみよう

いろいろな状況に応じて地図の表示を変えることができます。
地図の表示方法には下記の4種類があります。

2D	通常の地図（2D）で表示します
2D ツイン	左右2つに分割した地図（2D）で表示します
3D	上空から見ているような立体的な地図（3D）で表示します
3D ツイン	左右2つに分割して左画面を立体的な地図（3D）で表示します

① **表示変更** にタッチします。



② **地図表示** にタッチします。



③ 希望の表示方法にタッチします。



表示している地図のタッチスイッチが明るくなっています。

■ 2D にタッチすると

通常の地図 (2D) で表示します



■ 2Dツイン にタッチすると

左右 2 つに分割した地図 (2D) で表示します



■ 3D にタッチすると

上空から見ているような立体的 (3D) な地図で表示します



■ 3Dツイン にタッチすると

左右 2 つに分割して左画面を立体的 (3D) な地図で表示します



🔊 お知らせ

画面を左右 2 分割したときの右画面も操作することができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「2 画面表示の切り替え」を参照してください。

地図の操作

地図にいろいろな施設のマークを表示しよう

表示している地図にいろいろな施設のマーク（ランドマーク）を表示することができます。

- ① **表示変更** にタッチします。



- ② **周辺施設** にタッチします。



- ③ 表示する **施設名** にタッチします。

- 複数のランドマークや画面の6種類以外を表示することもできます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「施設の表示」を参照してください。



- 選んだ施設ランドマークが表示されます。



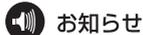
施設ランドマーク

2 場所の登録

自宅を登録しておこう

本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきましょう。
自宅を登録しておくことで、ドライブ先から帰るとき簡単にルートを設定することができます。

自宅にいるときは



お知らせ

現在地 を押して、自宅付近の地図を表示してから操作してください。

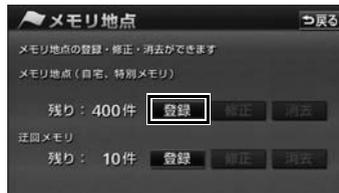
- 1 **メニュー** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- 2 **メモリ地点** にタッチします。



- 3 **登録** にタッチします。



- 4 **先程の地図** にタッチします。

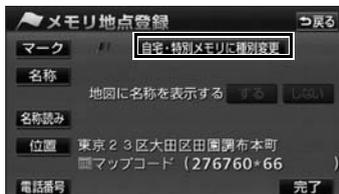


場所の登録

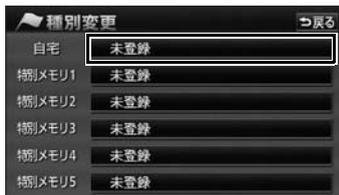
5 **セット** にタッチします。



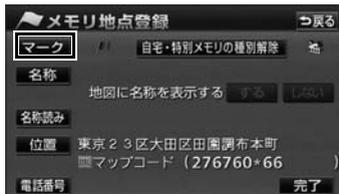
6 **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。



7 自宅の **未登録** にタッチします。



8 **マーク** にタッチします。

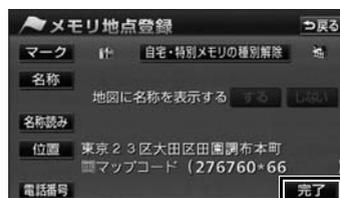


9 地図に登録するマークにタッチします。

- **マーク2**、**マーク3**、**音声付き**、**施設マーク** にタッチすると、ちがうマークを選ぶことができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「メモリ地点のマークを変更する」を参照してください。



- 10 **完了** にタッチします。



- 11 **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。

自宅以外にいるときは

- 1 **メニュー** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- 2 **メモリ地点** にタッチします。



場所の登録

3 **登録** にタッチします。



4 **住所** にタッチします。



5 **都道府県**・**市区町村**・**町名**・**丁目(字)**の順にタッチします。

- ▲前、▼次、▲50音、▼50音、あ～わ にタッチすると、画面をスクロールすることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。

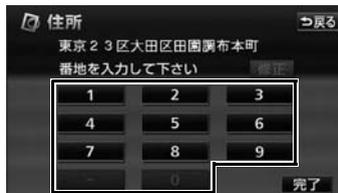


6 **丁目(字)**にタッチしたあと **番地指定** にタッチします。



7 数字、または一(ハイフン)を1つつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つつ消去されます。



8 **完了** にタッチします。



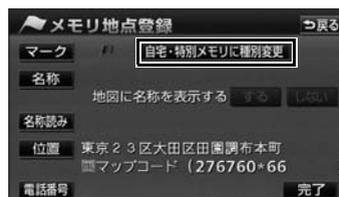
9 **↑** にタッチして自宅の位置に合わせます。



10 **セット** にタッチします。



11 **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。

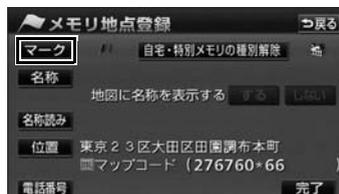


12 自宅の **未登録** にタッチします。



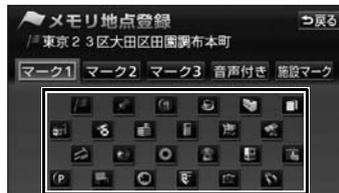
場所の登録

13 **マーク** にタッチします。

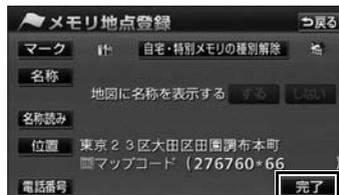


14 地図に登録する**マーク**にタッチします。

- **マーク2**、**マーク3**、**音声付き**、**施設マーク** にタッチすると、ちがうマークを選ぶことができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「メモリ地点のマークを変更する」を参照してください。



15 **完了** にタッチします。



16 **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。



お気に入りの場所を登録しよう

地図にお気に入りの場所を 400 カ所（自宅・特別メモリを含む）まで登録することができます。

場所を登録すると地図に旗（)などのマークを表示することができます。

地図から登録するには

① 地図にタッチして マークを登録する場所に移動します。

- 現在地を登録するときは地図を移動する必要はありません。



② **地点登録** にタッチします。

- 地図を移動していないときは 、移動したときは  の位置を  マークで登録します。



③ **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。



場所の登録

離れた場所を登録するには

■ 兵庫県、姫路市の姫路城を登録する

- ① **メニュー** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② **メモリ地点** にタッチします。



- ③ **登録** にタッチします。



- ④ **50音・名称** にタッチします。



- ⑤ **文字入力** にタッチします。



6 ひ、め、し、、し、、
よ、う の順にタッチします。

7 変換 にタッチします。

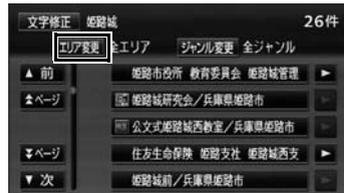
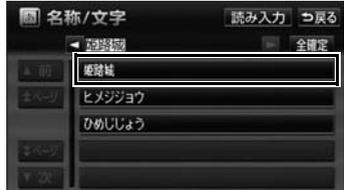
8 姫路城 にタッチします。

9 完了 にタッチします。

10 エリア変更 にタッチします。

- エリア変更 や ジャンル変更 から候補を絞り込んで探すことができます。

11 県別で探す にタッチします。



場所の登録

12 リストをスクロールして **兵庫県** にタッチします。

- ▲前、▼次、▲50音、▼50音、あ～わ にタッチすると、画面をスクロールすることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。

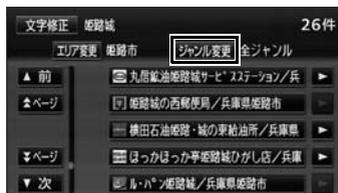
13 リストをスクロールして **姫路市** にタッチします。

- ▲前、▼次、▲50音、▼50音、あ～わ にタッチすると、画面をスクロールすることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。

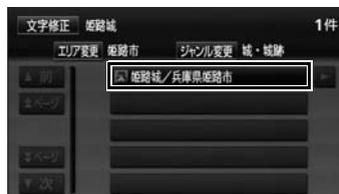
14 **ジャンル変更** にタッチします。

15 **文化施設** にタッチします。

16 リストを切り替えて **城・城跡** にタッチします。



- 17 リストの **姫路城／兵庫県姫路市** にタッチします。

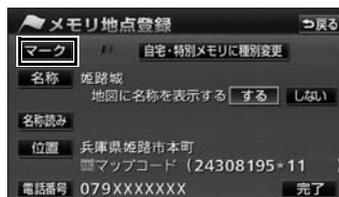


- 18 **セット** にタッチします。

-  にタッチすると地図を移動することができます。

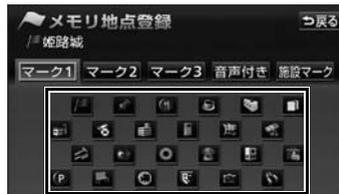


- 19 **マーク** にタッチします。



- 20 地図に登録するマークにタッチします。

- **マーク2**、**マーク3**、**音声付き**、**施設マーク** にタッチすると、ちがうマークを選ぶことができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「メモリ地点のマークを変更する」を参照してください。



場所の登録

⑪ **完了** にタッチします。



⑫ **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。

新しい建物などを施設のマークで登録しよう

地図のデータに収録されていない、新しく建設されたコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどのマークを地図に登録して、表示することができます。

■ 新しいコンビニエンスストア（新しいコンビニ）に登録する

- 1 地図にタッチして  マークに登録する場所に移動します。



- 2 **地点登録** にタッチします。
 -  の位置を  マークで登録します。
 - 登録した場所の地名が表示されます。



- 3  マークにタッチします。



- 4 **情報** にタッチします。



場所の登録

5 **修正** にタッチします。



6 **マーク** にタッチします。



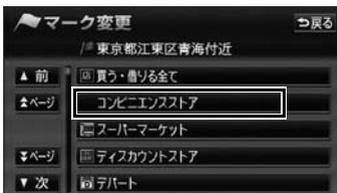
7 **施設マーク** にタッチします。



8 **買う・借りる** にタッチします。



9 **コンビニエンスストア** にタッチします。



- 10 リストを切り替えて
コンビニエンスストア全て にタッチ
 します。

- ▲前、▼次、▲ページ、▼ページ、店
 にタッチすると、画面をスクロールすることが
 できます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション
 編」-「リスト画面の切り替え方」を参照して
 ください。

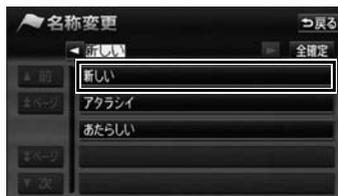
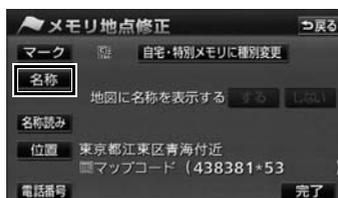
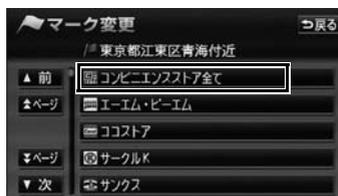
- 11 **名称** にタッチします。

- 12 **あ、た、ら、し、い** の順に
 タッチします。

- 13 **変換** にタッチします。

- 14 **新しい** にタッチします。

- 15 **カナ** にタッチします。



場所の登録

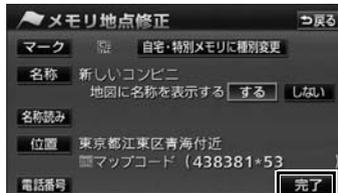
16 **コ**、**ソ**、**ヒ**、**、**、**ニ**の順にタッチします。

17 **完了** にタッチします。

18 **完了** にタッチします。

19 **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。



施設マークを登録した地図画面

登録した名称を表示



登録した施設のマークを表示

3 ルート案内について

ルート案内を開始するには

行き先を指定すると、自動的に行き先までの道順（ルート）を探索します。これが「**ルート探索**」です。ルート探索が終わったら、探されたルートを行き先までのルートに決めます。これが「**ルート設定**」といいます。ルートを設定してドライブを開始すると、行き先までのルートを音声や状況に応じた画面で案内します。

この音声や画面による誘導を「**ルート案内**」といいます。

ルート探索(行き先を指定)

- ・地図スクロールで探す
- ・登録した場所から探す
- ・地図を呼び出して探す



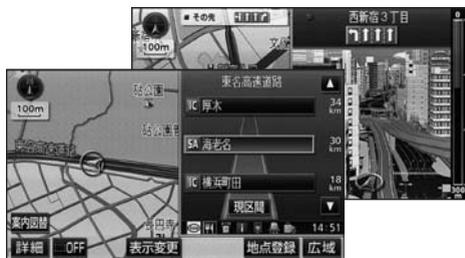
ルート設定

- ・行き先までの道のりを確認
- ・希望のルートを選択
- ・立ち寄り場所の追加



ルート案内

- ・案内をスタート
- ・交差点等を案内
- ・高速道路等の料金・施設を案内



4 ルートの探索（行き先を指定）

行き先を決めてルート探索をしよう

行き先の情報を手がかりにして場所を探します。

- ① 地図を移動してすぐに探す場合……………「目的地セット」(次ページ参照)
- ② 自宅に帰る場合（自宅が登録されているとき）
……………「自宅に帰る」(56 ページ参照)
- ③ 行き先の施設ジャンル（駅・ゴルフ場・ホテルなど）が
わかっている場合……………「主要施設」(57 ページ参照)
- ④ 行き先の電話番号がわかっている場合……………「電話番号」(59 ページ参照)

ほかにも名前から探す「50音・名称」や郵便番号から探す「郵便番号」などもあります。

(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「地図の呼び出し方法」を参照してください。)



①地図を移動したとき

③施設から探すとき



④電話番号から
探すとき

②自宅に帰るとき

地図を移動して探すには

- 1 地図にタッチして  マークを移動します。



- 2 **目的地セット** にタッチします。



- 3  にタッチして行き先の位置に合わせます。



- 4 **目的地セット** にタッチします。

-  マークの位置に  マークが表示されます。



- 現在地から  マークまでのルートが探索され全ルートが表示されます。



- 全ルートを表示

ルートの探索（行き先を指定）

自宅に帰るには

- ① **目的地** を押します。



- ② **自宅に帰る** にタッチします。



- 現在地から自宅までのルートが探索され全ルートが表示されます。



- 全ルートを表示



お知らせ

自宅が登録されていない場合は、「自宅が登録されていません。自宅登録を行いますか？ **はい** **いいえ**」と表示されます。**はい** にタッチするとメモリ地点登録画面が表示され、自宅の場所を検索・登録することができます。

主要施設から探すには

■ 東京都の上野動物園を探す

- ① **目的地** を押します。



- ② **主要施設** にタッチします。



- ③ **その他** にタッチします。



- ④ リストをスクロールして **動植物園** にタッチします。

- ▲前、▼次、▲ページ、▼ページ にタッチすると、画面をスクロールすることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。



- ⑤ リストをスクロールして **東京都** にタッチします。

- ▲前、▼次、▲50音、▼50音 にタッチすると、画面をスクロールすることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。



ルートの探索（行き先を指定）

6 リストをスクロールして **上野動物園** にタッチします。

- ▲前、▼次、▲50音、▼50音 にタッチすると、画面をスクロールすることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。

7 地図にタッチして地図を移動します。

- 位置を移動しないときは、**8** の手順を操作します。

8 **目的地セット** にタッチします。

- 現在地から行き先までのルートが探索され全ルートが表示されます。



- 全ルートを表示

電話番号から探すには

- ① **目的地** を押します。



- ② **電話番号** にタッチします。



- ③ 市外局番から **数字** を1番号ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチして消去します。
- 市外局番と市内局番の入力のみときは、**完了** にタッチして、⑥の手順を操作します。



- ④ **完了** にタッチします。

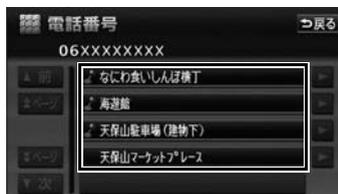
- 入力した電話番号に該当する施設があるときは⑫の手順を操作します。
- 入力した電話番号に複数の施設が該当するときは⑤の手順を操作します。
- 入力した電話番号に該当する施設がないときは市外・市内局番に該当する地域の地図が表示され、⑥の手順を操作します。
- 個人宅の電話番号を入力したときは、⑩の手順を操作します。(地図データに収録されているときに限ります。)



ルートの探索（行き先を指定）

5 該当する **施設名** にタッチします。

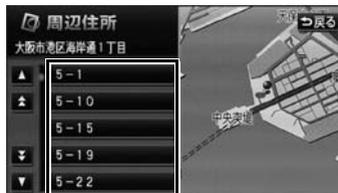
- 施設の地図が表示され⑫の手順を操作します。

6 **住所一覧** にタッチします。7 該当する **住所** にタッチします。

- 住所の地図が表示され⑫の手順を操作します。
- 番地を入力して該当する番地がないときは⑧の手順を操作します。

8 **周辺住所** にタッチします。9 該当する **番地** にタッチします。

- 番地の地図が表示され⑫の手順を操作します。



⑩ 個人宅の名称（名字）を1文字ずつ
タッチして入力します。

- 該当する個人宅がないときは市外・市内局番に
該当する地域の地図が表示され、⑥の手順を操
作します。

⑪ **完了** にタッチします。

- 個人宅の地図が表示され、⑫の手順を操作しま
す。

⑫ **目的地セット** にタッチします。

- 現在地から行き先までのルートが表示されま
す。



- 全ルートを表示

5 ルートの設定

希望のルートを設定しよう

行き先を決定すると、現在地から行き先までの推奨ルートを探索して画面に表示します。

画面には行き先までの道を色塗りして、到着予想時間や料金、距離などが表示されます。これを**全ルート図表示**といいます。

全ルート図表示からはルートの道りを確認したり、ほかのルートを選んだり、ルートの途中に立ち寄り場所を追加することもできます。



■ 表示について

① インターチェンジ (IC) 名称表示	有料道路を通るときは、インターチェンジ (IC) の入口 (下) と出口 (上) の名称が表示されます。
② 有料道路距離表示	通る有料道路の距離が表示されます。
③ 料金案内	通る有料道路の料金が表示されます。
④ 距離表示	行き先 (複数のときは最終目的地) までの距離が表示されます。
⑤ IC マーク	有料道路を通るときは、入口と出口のインターチェンジ (IC) の位置に表示されます。
⑥ 到着予想時刻表示	行き先への到着予想時刻が表示されます。
⑦ 残距離表示	行き先 (ルート) までの残りの距離が表示されます。



お知らせ

渋滞統計データを考慮が **しない** に設定されているときは、推奨ルートが探索されます。(詳しくは、「取扱説明書ナビゲーション編」-「渋滞考慮ルート探索」を参照してください。)

■ タッチスイッチについて

① 5ルート	ほかのルートを表示させ、選ぶことができます。(65ページ参照)
② ルート変更	表示されているルートを変更することができます。また、行き先を追加したり、インターチェンジ (IC) を変更することができます。(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「探索ルートの変更」を参照してください。)
③ 通過道路指定	地図にタッチすると表示されます。 通過道路指定 にタッチすると通過道路が指定できます。(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「通過道路の指定」を参照してください。)
④ 案内開始 (案内開始後は、案内に戻る)	案内を開始することができます。
⑤ 情報	ルートの道のり (案内道路情報) を表示させることができます。(次ページ参照)
⑥   インターチェンジ (IC) 名称	インターチェンジ (IC) の名称にタッチすると、インターチェンジ (IC) を変更することができます。(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「乗降インターチェンジ (IC) の指定」を参照してください。)
⑦  到着予想時刻 / 残距離表示	行き先が2カ所以上あるときは、到着予想時刻 / 残距離表示にタッチすると、表示される行き先を切り替えることができます。(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「到着予想時刻 / 残距離表示の切り替え」を参照してください。)



お知らせ

- 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は設定したお車の車両寸法など (86ページ参照) から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。

ルートの設定

ルートの道のりを確認しよう

- ① 全ルート図表示で、**情報** にタッチします。



- ② ▲ (または ▼) にタッチします。
- 道路の種別の変り目などで道のりの情報を分割して表示します。
 - **地図** にタッチするとその場所の地図を表示します。



ルート情報画面の見方



ほかのルートを選んでみよう

渋滞考慮ルート以外に有料道路優先ルート、一般道優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計 5 ルートを同時に表示して選ぶことができます。

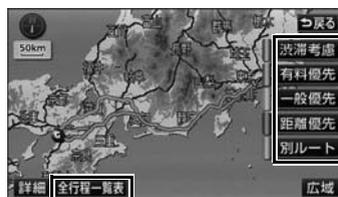
① 全ルート図表示で、**5ルート** にタッチします。

- 5 つのルートを色分けして表示します。



② **全行程一覧表** にタッチします。

- **ルート名称** にタッチすると選んだルートの全ルート図を表示します。



③ 希望の **ルート名称** にタッチします。

- 選んだルートの全ルート図を表示します。

検索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間
渋滞考慮	530km	455km	10950円	7時間 18分
有料優先	565km	562km	12300円	7時間 22分
一般優先	539km	0.0km		19時間 46分
距離優先	497km	157km	4900円	15時間 19分
別ルート	530km	455km	10950円	7時間 18分



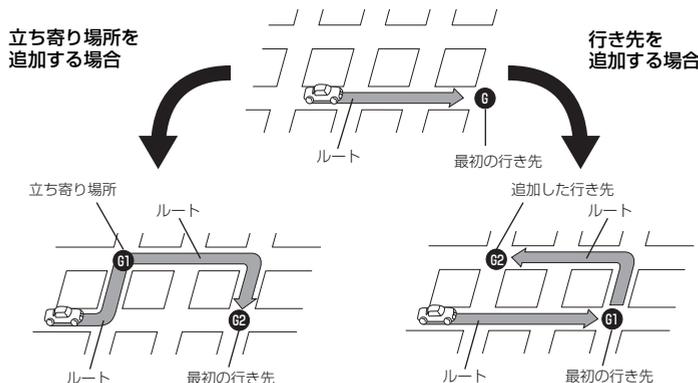
🔊 お知らせ

各種設定の渋滞統計データを考慮が **しない** に設定されているときは、**渋滞考慮** が **推奨** の表示に切り替わります。(詳しくは、「取扱説明書ナビゲーション編」-「渋滞考慮ルート探索」を参照してください。)

ルートの設定

ルートの途中に立ち寄り場所を追加してみよう

例えば、友人を迎えに行ってから行き先に行くときや、最初に決めた行き先の次に行き先を追加するなど、前もってルートを変更することができます。



- ① 全ルート図表示で **ルート変更** にタッチします。



- ② 目的地・通過目的地の **追加** にタッチします。



- ③ 追加する行き先を探す方法にタッチします。

- 行き先を探す方法については「取扱説明書ナビゲーション編」- 「地図の呼び出し方法」を参照してください。



- ④ 呼び出した地図で **目的地セット** にタッチします。



- ⑤ 追加する区間の **設定** にタッチします。

- 現在地から行き先までの間に設定すると立ち寄り場所になります。
- 行き先の次に設定すると次の行き先になります。
- 立ち寄り場所や追加の行き先は最大5カ所まで設定できますので、②～⑤の手順の操作を繰り返してください。



- ⑥ **探索開始** にタッチします。

- ルートを変更した全ルート図が表示されます。



- 全ルートを表示

6 ルート案内

ルートの案内について

車をスタートさせると、車の動きに合わせて交差点・車線情報・道路形状・料金・高速道路情報などを設定された案内ポイントごとに画面を切り替えていきます。また、案内ポイントごとに音声でもわかりやすく案内します。

ルート案内中の現在地画面

走行する道路によって案内ポイントごとにいろいろな画面で案内します。

交差点の案内

現在地



分岐しない交差点に
近づくと…



分岐する交差点の700m 手前になると…

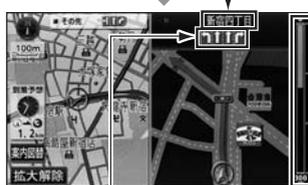
レーンリスト



① 分岐する交差点までに交差点の名称と車線の
レーンを案内します
(車線のレーン情報があるときに限ります。)

分岐する交差点の300m 手前になると…

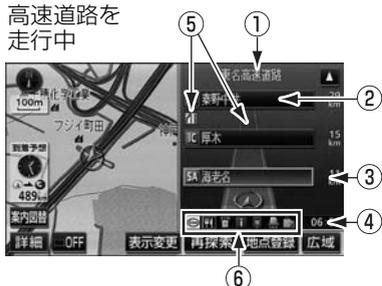
交差点拡大図



- | | | |
|---|-----------|---|
| ① | レーン(車線)表示 | 通過・分岐する交差点の車線が表示されます。 |
| ② | 交差点名称表示 | 通過・分岐する交差点の名称が表示されます。 |
| ③ | 残距離表示 | 交差点までの距離が表示されます
(交差点に近づくとともに  が短くなります。) |

高速道路の案内

高速道路を
走行中



分岐の案内



インターチェンジや
ジャンクションの
1km 手前になると…

① 道路名称表示	表示している施設のある道路名称が表示されます。
② 施設名称表示	施設 (SA・PA・IC) の名称が表示されます。
③ 距離表示	現在地からの距離が表示されます。
④ 通過予想時刻表示	選んだ施設 (SA・PA・IC) の通過予想時刻が表示されます。
⑤ VICS マーク・表示	VICS 情報が受信されたとき、表示されます。(VICS マーク・表示については、84、85 ページを参照してください。)
⑥ 設備マーク表示	選んだ施設 (サービスエリア・パーキングエリア) にある設備が最大 7 つまで表示されます。(設備が多い場合、表示されないマークもあります。)
⑦ 分岐点名称表示	インターチェンジの出口、またはジャンクションの方面名称が表示されます。
⑧ 残距離表示	分岐点までの距離が表示されます。(分岐点が近づくとともに  が短くなります。)

■ 案内画面の操作について



▼・▲、または **施設名** にタッチすると、選ばれる施設が切り替わります。

ルート案内

料金所や道路形状情報の案内

現在地画面

道路形状の
情報があると…

料金所に近づくと…



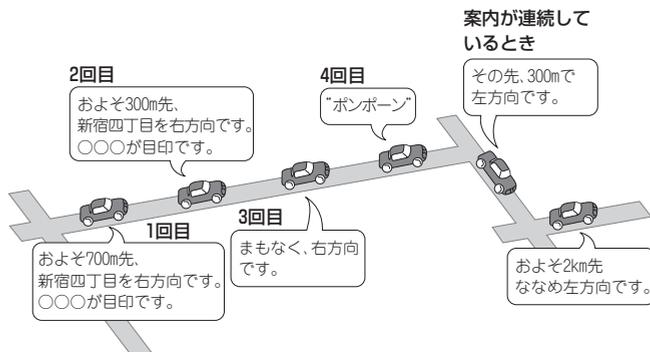
①	道路 形状 表示	踏切		の警告マークが表示されます。
		急カーブ		
		合流道路		
		レーン		
②	料金表示	使用する有料道路の料金が表示されます。		

音声によるルートのご案内

ルートのご案内中は、道路の状況や車の速度に応じて、案内ポイントまでの距離などを音声でわかりやすく案内します。

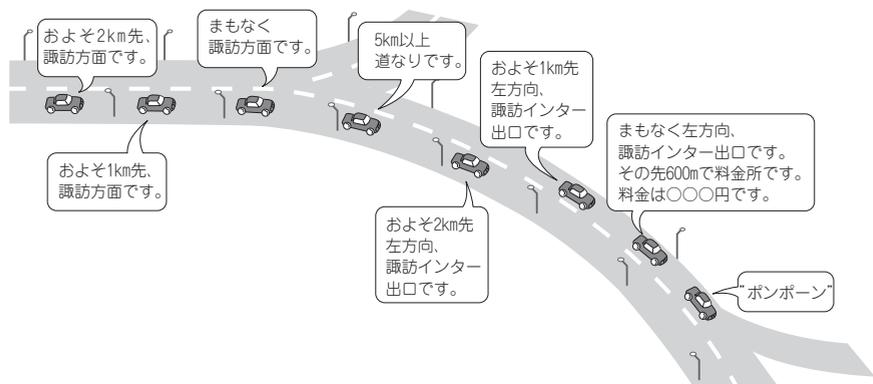
■ 一般道路を走行しているとき

車の速度に合わせ、交差点名や残りの距離、方向および目印（4種類）を最大3回までその状況にあわせて、音声で案内します。



■ 高速道路を走行しているとき

インターチェンジやジャンクションのおよそ2km手前になると、音声で進行方向や方面を案内します。また、出口の料金所では料金と進行方向を音声で案内します。



ルート案内

ルート案内に沿って車をスタートしよう

- 1 全ルート図表示で、**案内開始** にタッチします。
- 現在地の画面が表示され、「○○○○実際の交通規制にしたがって走行してください。」の音声案内されます。



- 2 運転を開始してください。



お知らせ

ルートから外れてしまったら

ルートから外れてしまっても、自動的に案内中のルートに戻るよう修正されます。
(自動再探索機能)

詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「自動再探索」を参照してください。

案内を途中で中止・再開しよう

案内を途中で中止したり、中止した案内を再開することができます。

- 1 **メニュー** を押して、メニュー画面を呼び出します。



■ 案内を中止する

- 2 **案内中止** にタッチします。

- 案内が中止されます。



- 地図のルートが消えます。(行き先の**G**マークは消えません。)



■ 案内を再開する

- 2 案内が中止のときは **案内再開** にタッチします。

- 案内が再開されます。



- 地図にルートが再び表示されます。



ルート案内

行き先を消去しよう

設定した行き先を消去することができます。また、ルート通りに行き先に着いても設定した **⑤** マークは消えませんが、下記の操作で消去してください。(ただし、新しく行き先を設定すると、前の **⑤** マークは消去されます。)

① 目的地 を押します。



② 目的地消去 にタッチします。

- 行き先が1つのときは **④** の手順を操作します。



③ 消去する行き先の名称にタッチします。

- 全てを消去するときには **全消去** にタッチします。



④ はい にタッチします。

- 行き先を全て消去したときは、現在地を表示します。



⑤ 探索開始 にタッチします。

- 行き先が残っているときは残った行き先の全ルート図を表示します。

⑥ 現在地 を押します。

- 現在地を表示します。



7 情報機能の操作

情報機能进行操作しよう

情報機能には、いろいろな便利な機能があります。

例えば、施設の詳細な情報を表示したり、お車のメンテナンス情報を設定することができます。

ここでは、「スポットインフォメーション（情報付施設）」の操作を説明します。ほかの機能については「取扱説明書ナビゲーション編」-「情報機能」を参照してください。

情報付施設を操作するには

■ 兵庫県の姫路城の詳細な情報を表示する

- 1 **情報** を押して、情報画面を呼び出します。



- 2 **情報付施設** にタッチします。



- 3 **城・城跡** にタッチします。

- **文化** にタッチすると項目を切り替えることができます。



- 4 **兵庫県** にタッチします。

- **▲前**、**▼次**、**▲50音**、**▼50音**、**あ～わ** にタッチすると、画面をスクロールすることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。



情報機能の操作

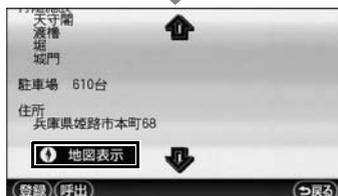
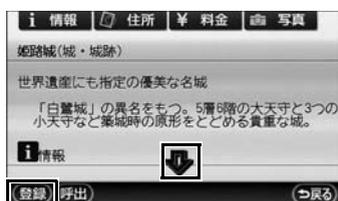
5 姫路城 にタッチします。

- ▲前、▼次、▲50音、▼50音、あ～わ にタッチすると、画面をスクロールすることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。



6 ↓ (または ↑) にタッチして画面を移動します。

- 登録 にタッチすると、表示中のページを登録できます。
- 地図表示 にタッチすると地図が表示されます。



お知らせ

地図画面からは **目的地セット** にタッチすると、行き先に設定できます。また、**地点登録** にタッチすると、その場所をメモリ地点に登録することができます。

8 VICS 機能の操作

渋滞情報を確認するには（VICS 機能）

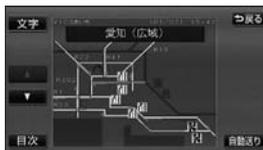
突然の渋滞や事故、道路工事などで道路が混雑している場所や通行止めの位置などを確認することができます。

さらに混雑・渋滞を色分けして表示するので、ひとめで把握することができます。これが VICS 機能です。

VICS 機能の表示には、「文字表示」、「図形表示」、「地図表示」があります。



文字表示

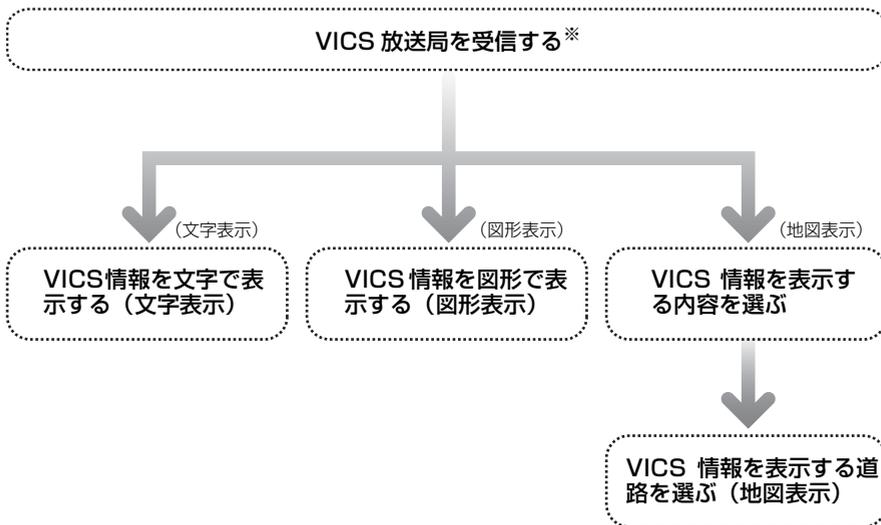


図形表示



地図表示

VICS 機能を表示するには次の手順で操作してください。



* 放送局については「取扱説明書ナビゲーション編」-「VICS 提供放送局の選択」を参照してください。

VICS 機能の操作

VICS の周波数を合わせよう

- 1 **メニュー** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- 2 **VICS** にタッチします。



- 3 FM 多重チューナー設定の **VICS** にタッチします。

- **CD情報** が選択されているときは、VICS 情報を受信できない場合があります。

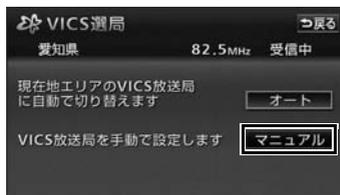
- 4 **VICS選局** にタッチします。



■ 手動 (マニュアル) で合わせる

※初期状態では **オート** に設定されています。

- 5 **マニュアル** にタッチします。



- 6 エリアから選ぶときは **都道府県** にタッチします。

周波数から選ぶときは **TUNE▼**、または **TUNE▲** にタッチします。

- 受信すると『受信中』を表示します。



7 **完了** にタッチします。



8 **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。

■ 自動（オート）で合わせる

5 **オート** にタッチします。

- 通常は **オート** で使用してください。
- 受信すると『受信中』を表示します。



6 **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。

VICS 機能の操作

文字・図形情報を表示しよう

- ① **メニュー** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② **VICS** にタッチします。



- ③ **FM図形**、または **FM文字** にタッチします。



- ④ 表示する番号にタッチします。



●文字情報のとき



●図形情報のとき

5 ▲・▼、または **自動送り** にタッチして表示を切り替えます。

- 文字情報のとき、図形情報に切り替えるときは **図形** にタッチします。
- 図形情報のとき、文字情報に切り替えるときは **文字** にタッチします。



● 文字情報のとき



● 図形情報のとき

6 **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。



VICS 機能の操作

地図に VICS 情報を表示しよう

1 **表示変更** にタッチします。



2 **VICS・交通データ** にタッチします。



3 **表示設定** にタッチします。



4 VICS の表示する内容にタッチします。

- 渋滞・混雑** …渋滞・混雑情報の表示
- 空き道** …空いている道の情報の表示
- 規制情報** …事象・規制情報の表示
- 駐車場** …駐車場情報の表示



5 **完了** にタッチします。



6 **表示変更** にタッチします。



7 **VICS・交通データ** にタッチします。



8 表示する道路の種類にタッチします。

● **非表示** にタッチするとVICS情報は表示されません。



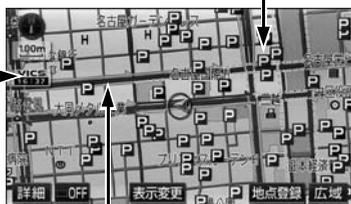
● VICS 情報を表示すると、道路の色が変わります。



VICS 機能の操作

VICS 画面の見方について

駐車場、SA・PA 情報
 駐車場やサービスエリア
 の情報が表示されます



タイムスタンプ
 VICS情報を受信した時
 刻が表示されます



VICS 情報を受信中のとき

VICS 情報を未受信のとき

渋滞情報

渋滞情報

赤色…渋滞

橙色…混雑

水色…空いている道

先頭



お知らせ

渋滞情報は、表示している地図スケールによって矢印にならないことがあります。

地図に表示される VICS 表示マークについて

VICS 情報の中で使用されるマークの代表的な例を示します。

表示	情報内容	表示	情報内容
	事故		駐車場 空
	故障車		駐車場 満
	路上障害		駐車場 混雑
	注意		駐車場 不明
	注意 (地震警戒宣言)		駐車場 閉鎖
	工事		対面通行
	火災		車線規制
	雨		徐行
	凍結		入り口閉鎖
	雪		大型通行止め
	作業		入り口規制
	通行止め		出口規制
	右折禁止		速度規制 30 km / h
	左折禁止		SA PA 情報 空
	直進禁止		SA PA 情報 満
	片側交互通行		SA PA 情報 混雑
	チェーン規制		SA PA 情報 不明
	進入禁止		イベント

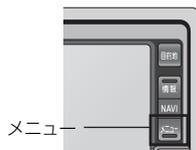
表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して1つのマークで表示することがあります。

9 その他の設定

お車の情報 (ナンバープレートの分類、車両寸法) を登録しよう

お車のナンバープレートの分類や車両寸法を登録しておくことで案内時の料金の計算や、施設周辺の駐車場を探すときの基準となります。(行き先を指定しているときは、お車の情報を登録できません。)

- 1 **メニュー** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- 2 **各種設定** にタッチします。



- 3 **その他** にタッチします。

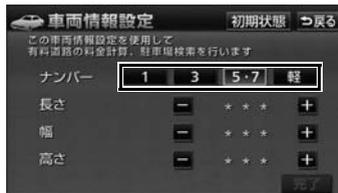


- 4 車両情報設定の **変更する** にタッチします。

- 行き先が設定されていると、タッチできません。

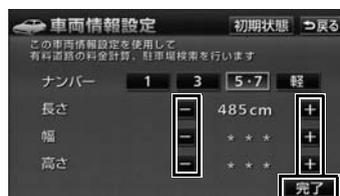


- 5 ナンバープレートの分類 (**1**・**3**・**5・7**・**軽**) にタッチします。



⑥ 車両寸法の **-**・**+** にタッチして、
入力します。

⑦ 入力後、**完了** にタッチします。



⑧ **現在地** を押します。

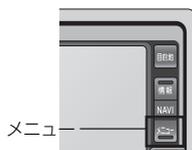
- 現在地を表示します。

その他の設定

ナビゲーションの画面に時計を表示するには

GPS 時計を地図画面に表示することができます。

- ① **メニュー** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② **各種設定** にタッチします。



- ③ **その他** にタッチします。



- ④ 時計表示の **する** にタッチします。



5 **完了** にタッチします。

- 画面の下に時計が表示されます。



時計表示



 お知らせ

時計表示の時刻は、GPS 電波を利用していますので、時刻調整はできません。(自動調整)

その他の設定

ナビゲーションの音量を調整しよう

操作の手引きを説明する音声やルート案内中に聞こえる音声の音量を調整することができます。

- ① **メニュー** を押して、メニュー画面を呼び出します。

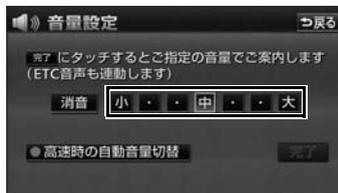


- ② **音量設定** にタッチします。

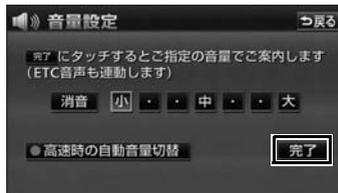


- ③ 希望の **小** ~ **大** にタッチします。

- **消音** にタッチすると、音声案内などが聞こえなくなります。



- ④ **完了** にタッチします。



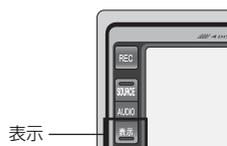
お知らせ

パネルスイッチで音量の調整（ラジオの音量調整など）をしても、ナビゲーションの音量は変わりません。上記の手順で、お好みの音量に調整してください。

ナビゲーションの画面を消すには

ナビゲーションを使わないときなどに地図画面を表示しなくすることができます。

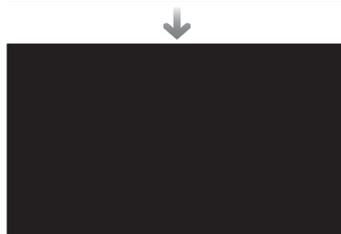
- 1 **表示** を長く（1 秒以上）押して、画質調整画面を呼び出します。



- 2 **画面消** にタッチします。
- 画質調整画面からはコントラストや明るさなどが調整できます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「画面の調整」を参照してください。



- 3 **現在地** を押すと、ナビゲーションの画面にもどります。



その他の設定

現在地を補正するには

本機は基本的に、地図の自転車位置マーク(▲)がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。)

GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

次のようなときは補正を行うことが必要です。

- タイヤを交換したとき…自動補正を行ってください。(距離の補正)

また、次のようなときも補正を行うことができます。

- 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マーク(▲)が表示されている(自転車位置マーク(▲)がずれている)とき…自転車位置マーク(▲)の位置と向いている方向を修正することができます。(現在地の修正)
- 走行中、地図の自転車位置マーク(▲)の進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき…自転車位置マーク(▲)の進み方を修正することができます。(距離の補正)

現在地の修正



お知らせ

800mスケール図以下の詳細な地図で補正することができます。

- 1 **メニュー** を押して、メニュー画面を呼び出します。



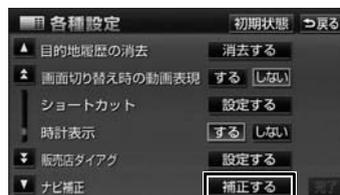
- 2 **各種設定** にタッチします。



- 3 **その他** にタッチします。



- 4 ナビ補正の **補正する** にタッチします。



- 5 **現在地修正** にタッチします。



- 6 **🏠** にタッチして実際の現在地に地図を動かします。



- 7 **セット** にタッチします。



その他の設定

- 8 、または  にタッチして方向を設定します。
- 方向を反時計まわりに動かすときは 、時計まわりに動かすときは  にタッチします。

- 9 **セット** にタッチします。



距離の補正

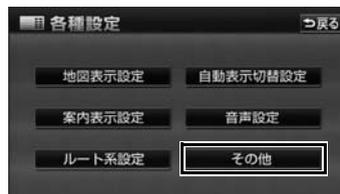
- ① **メニュー** を押して、メニュー画面を呼び出します。



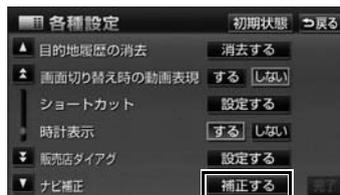
- ② **各種設定** にタッチします。



- ③ **その他** にタッチします。



- ④ ナビ補正の **補正する** にタッチします。



- ⑤ **距離補正** にタッチします。

- 自動補正、または手動補正を行います。



お知らせ

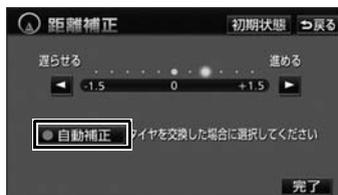
初期設定は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。

その他の設定

■ 自動補正するとき

⑥ **自動補正** にタッチします。

- 自動補正中はタッチスイッチがトーンダウンします。
- GPS 情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了します。



! アドバイス

- 補正できないときは、販売店で点検を受けてください。
- 自動補正中は自車位置がずれることがあります。
- 自動補正が終了しても距離補正の学習機能を持っているため、自車位置マーク  の進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 本機は、GPS と車速信号により、自動で距離の補正（自動補正）をしています。自動補正を上回る急激な変化（タイヤを新品に交換したり、本機を別のお車に取り付けたときなど）には、距離の補正が遅れることがあります。この場合は、GPS 電波の受信状態が良好な道路を約 10km 走行してください。

■ 手動補正するとき

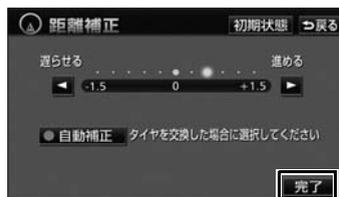
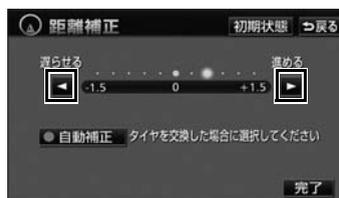
🔊 お知らせ

- 自動補正中は、手動補正をすることはできません。
- **初期状態** にタッチすると、手動補正の設定が初期設定の状態にもどります。

⑥ 自車位置マーク  の進み方が実際の車の進み方より遅く進むときは  (進める)、早く進むときは  (遅らせる) にタッチします。

- 最も進めると 、最も遅らせると  の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

⑦ **完了** にタッチします。



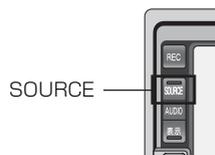
1 オーディオソースの切り替え

オーディオのソースを切り替えよう

マルチチェンジャーに切り替えるには

1 SOURCE を押します。

- SOURCE MENU 画面が表示されます。



2 MULTI CHANGER にタッチします。

- 聞きたいオーディオソースにタッチすると、タッチしたソースがスクリーン表示されます。
- オンスクリーン表示は自動で消えます。(詳しくは 29 ページを参照してください。)



お知らせ

- ディスクや“メモリスティック”の入れ方については 15 ページを参照してください。
- **MULTI CHANGER** にタッチすると、最後に聞いていたソース(音楽CD、またはMP3/WMAファイル、DVD)に切り替わります。ディスクの切り替えについては 100 ページを参照してください。



● オンスクリーン表示画面

操作画面を表示させるには

1 表示 を押します。

- 操作画面が表示されます。
- 各ソースの操作画面は、101 ページのように表示されます。



● CD 操作画面

簡単にオーディオソースを切り替える

オーディオ・DVD・TV・VTR 操作画面から簡単に SOURCE MENU 画面を表示することができます。

- 1 オーディオ・DVD・TV・VTR 操作画面で、SOURCE MENU 呼び出しスイッチにタッチします。

- SOURCE MENU 画面が表示されます。

- 2 **AM**（お好みのソーススイッチ）にタッチします。

- AM の操作画面が表示されます。
- ▲ にタッチすると、もとの操作画面にもどります。



オーディオソース(モード)の切り替え

マルチチェンジャーのディスクを切り替える

マルチチェンジャーに差し込まれているディスクを切り替えることができます。

① マルチチェンジャー操作画面で、**DISC CHANGE** にタッチします。

- DVD を再生している場合は、画面にタッチすると、**DISC CHANGE** を表示します。



② 再生したいディスク No. にタッチします。

- 差し込まれているディスクにより表示内容が異なります。

音楽 CD (CD-R/RW) の場合

CD : CD 情報 (CD-TEXT、該当するデータベース情報)

MP3/WMA の場合

MP3/WMA : ID3 タグ、WMA タグ

DVD の場合

DVD : ディスクに収録されている情報

壁紙データの場合

DATA



🔊 お知らせ

- すでに録音された音楽CDは、表示が黄色に切り替わります。
- DATAにタッチしても壁紙モード、またはデータ更新モードに切り替わりません。

■ AM 操作画面



■ FM 操作画面



■ MUSIC RACK 操作画面



■ マルチチェンジャー操作画面



■ MEMORY STICK プレーヤー操作画面



● 音楽 CD を再生する場合



● MP3/WMA を再生する場合

■ TV 操作画面



● DVD を再生する場合

■ VTR 操作画面 (オプション)



オーディオの操作画面を表示後、自動でナビゲーション画面などに切り替えることができます。詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」-「画面の調整・設定」を参照してください。

2 ラジオの操作

ラジオを聞くには

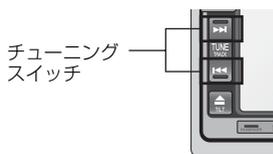
ソースをラジオにする

- 1 SOURCE MENU 画面で、**AM**、または**FM** にタッチします。



よく聞く放送局を記憶させる

- 1 **▶▶**、**◀◀** を押します。
 - 手動選局 軽く押すと、1 ステップずつ切り替わります。
 - 自動選局 "ピッ" と音がするまで押すと、自動で選局します。
- 2 プリセットスイッチを "ピーッ" と音がるまでタッチします。
 - プリセットスイッチにタッチすると、記憶させた放送局に切り替わります。



プリセットスイッチ

自動で放送局を探して記憶させる

■ AUTOプリセット機能を使う

受信可能な放送局を探して、一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能です。必要が無くなれば、簡単にもとの記憶させていた放送局に切り替えることができます。

① **機能** にタッチします。

- 機能スイッチを表示します。



② **AUTO.P** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- もう一度、**AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。
- **▼** にタッチすると、機能スイッチを収納します。
- 機能スイッチを表示している場合は、機能スイッチ以外のタッチスイッチ操作はできません。



ラジオを止める

① **⏻/POWER** を押します。

- もう一度押すと、最後に受信していた放送局を再受信します。



3 CD・MP3/WMA の操作

CD・MP3/WMA ファイルを聞くには

CD・MP3/WMA を再生する

■ ディスクが差し込まれていないとき

- 1 差し込み口にディスクを差し込み、ディスプレイ部を閉じます。
 - 自動で再生を始めます。

🔊 お知らせ

- 音楽CD（アルバム）を差し込み、再生が始まると、自動で録音（4倍速）を開始します。録音中は“REC”マークおよび、進捗バーを表示します。
REC を1秒以上押すと、録音は停止します。詳しくは「**MUSIC RACKの操作**」109ページを参照してください。
- 4倍速で録音されますが、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で音楽が出力されます。

■ ディスクが差し込まれているとき

- 1 **SOURCE MENU** 画面で、**MULTI CHANGER** にタッチします。



- 2 **DISC CHANGE** にタッチします。



- 3 CD、またはMP3/WMAが差し込まれているタッチスイッチにタッチします。



🔊 お知らせ

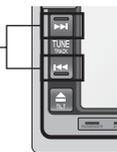
- すでに録音された音楽CDは、表示が黄色に切り替わります。
- マルチチェンジャーに複数の音楽CD（デジタル録音停止中）、またはMP3/WMAが差し込まれている場合、音楽CD、またはMP3/WMAディスクのみを順に切り替えて再生します。

聞きたい曲または音楽ファイルを選ぶ

① ▶▶、◀◀ を押します。

- CD再生時は次の曲に切り替わり、MP3/WMA再生時は次の音楽ファイルに切り替わります。

選曲・頭出し
スイッチ



簡単にフォルダや音楽ファイルを選ぶ (MP3/WMA ファイル)

本機は、MP3/WMA で圧縮された音楽データを再生することができます。音楽データ収録時に、音楽の種類ごとにフォルダで管理すると聞きたい曲を探し出すときに便利です。

① フォルダ名、または音楽ファイル名の タッチスイッチにタッチします。

- フォルダにタッチすると、フォルダの中に収録されているデータを表示します。音楽ファイルにタッチすると、タッチした音楽ファイルを再生します。
- **TITLE** にタッチすると、再生している音楽に収録されているファイル情報 (アルバム名や曲のタイトル) を表示することができます。



TITLE OFF ↑ ↓ **TITLE**
にタッチ



🔊 お知らせ

- 同じフォルダ内に音楽ファイルが9個以上ある場合は、▲、▼ にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。(走行中は操作できません。)
- ファイル情報 (アルバム名や曲のタイトル) は、MP3/WMA ディスクの作成方法により表示できない場合があります。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「MP3/WMA プレーヤーの操作」を参照してください。

CD・MP3/WMA の操作

同じ曲を繰り返し再生する

① **機能** にタッチします。

- 機能スイッチを表示します。

② **RPT** にタッチします。

- **▼** にタッチすると、機能スイッチを収納します。
- 機能スイッチを表示している場合は、機能スイッチ以外のタッチスイッチ操作はできません。



再生を止める

① **⏻/POWER** を押します。

- もう一度押すと、最後に再生していた曲または音楽ファイルを再度再生します。
- CDを4倍速録音しているときに **⏻/POWER** を押しても録音は継続されます。
- デジタル録音が禁止されているCDをアナログ録音しているときに **⏻/POWER** を押すと、録音は中止されます。



4 “メモリースティック” プレーヤーの操作

“メモリースティック” 内の音楽データを聞くには

本機は、ATRAC3（オーディオ圧縮技術）で“マジックゲートメモリースティック”（白、または紺）に記録された音楽データを再生することができます。

“メモリースティック” を再生する

■ “マジックゲートメモリースティック” が差し込まれていないとき

- 1 差し込み口に“マジックゲートメモリースティック”を差し込み、ディスプレイ部を閉じます。
 - 2 SOURCE MENU 画面で、**MEMORY STICK** にタッチします。
- 再生を始めます。



聞きたい音楽データを選ぶ

- 1 **▶▶**、**◀◀** を押します。



同じ曲を繰り返し再生する

- 1 **機能** にタッチします。
- 機能スイッチを表示します。



- 2 **RPT** にタッチします。
- **▼** にタッチすると、機能スイッチを収納します。
 - 機能スイッチを表示している場合は、機能スイッチ以外のタッチスイッチ操作はできません。



“メモリースティック” プレーヤーの操作

再生を止める

- 1 **⏻/POWER** を押します。
- もう一度押すと、最後に再生していた音楽データを再度再生します。



5 MUSIC RACK の操作

MUSIC RACK について

MUSIC RACK は、内蔵のマルチチェンジャーや TV、ラジオから音楽・音声を録音することができます。また、録音した音楽に、アルバム名やアーティスト名、ジャンルなどの名称を自動で付けるオートタイトリング機能により、聞きたい曲を、アルバム名やアーティスト名、ジャンルなどから簡単に探し出すことができます。

録音について

■ 録音できるオーディオのソースと録音モード

録音可能なオーディオソース	録音モード
マルチチェンジャー (MP3/WMA・DVD は不可)	デジタル録音
マルチチェンジャー (デジタル録音が禁止されている CD の場合)、TV (音声)、VTR (音声)、ラジオ	アナログ録音

■ 録音モードと操作

録音モード	操 作	
デジタル録音	AUTO	CD を差し込むと、自動で 4 倍速録音 [※] を開始
	SELECT	REC を押し、選曲してから 4 倍速録音 [※] を開始
アナログ録音	—	REC を押すと等倍速録音を開始

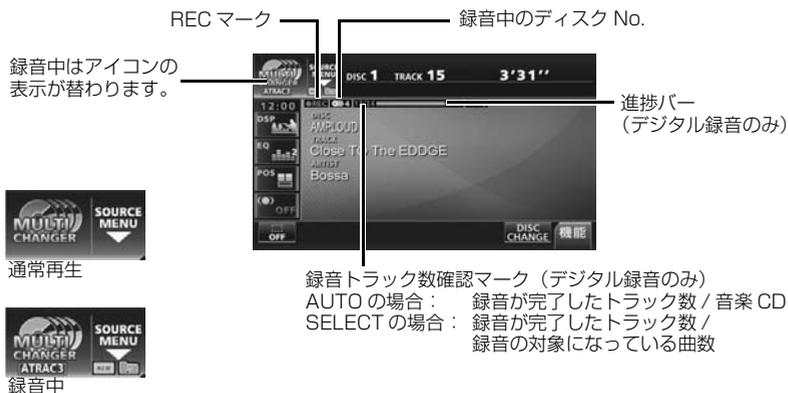
※録音は 4 倍速、再生は等倍速

デジタル録音中にオーディオソースを切り替えたり、オーディオを OFF にしても録音は継続されます。(録音中にマルチチェンジャー内のディスクを切り替えた場合、録音が停止します。)

MUSIC RACK の操作

録音画面の見方

録音中は下記の画面を表示します。



お知らせ

録音が完了した後や録音を手動で停止した後も他のオーディオソースに切り替えるまでは“ATRAC3”が表示され続けます。

オートタイトリング機能について

本機は、あらかじめ23万曲(タイトル)の音楽情報(アルバム名やアーティスト名、曲タイトルなど)をデータベースとして収録しています。音楽CDをデジタル録音すると、自動で、データベースから音楽情報を検索し、「Gracenote CDDDB[®] 音楽認識サービス」(詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC RACKの操作」参照)により、該当するアルバム名やアーティスト名、曲タイトルなどの音楽情報を付与します。また、MUSIC RACK 楽曲エージェント機能により、カテゴリ別で選曲するためのカテゴリ情報も付与します。

■デジタル録音時、該当する情報がある



- アルバム名のリストを作成
- アーティスト名のリストを作成
- 曲名のリストを作成
- ジャンルのリストを作成

■デジタル録音時、該当する情報がない

■アナログ録音時



- アルバム名として
CD/ALBUM/0001 ※1 のリストを作成
- 曲名として
CD/Track 01 ※2 のリストを作成

※1：オーディオのソース/ALBUM/4桁の番号

※2：録音したオーディオソース/Track 2桁の番号(2桁の番号はCDと同じトラック番号になります)

■デジタル録音時、データベースの検索が完了していない



- アルバム名として
NO TITLE 0001 ※1 のリストを作成
- トラック名として
NO TITLE 0001 ※2 のリストを作成

※1：MUSIC RACK内で順に付与される番号

※2：プレイリスト内で順に付与される番号

NO TITLE のトラックを再生しようとする、データベースを検索し、該当する情報がある場合、付与します。

MUSIC RACK の操作

操作画面の見方

■ 再生画面



TITLE ↑ ↓ **TITLE OFF**



■ プレイモード選択画面



■ プレイリスト選択画面



1つ上の階層画面を表示します。
(次ページ参照)

AGENT

カテゴリ選択画面を表示します。

機能

機能スイッチ表示画面を表示します。

- ・ **設定** 録音モードの切り替えや録音ビットレートの切り替えなどができます。
- ・ **編集** 名称編集やオリジナルプレイリストを作成することができます。

(詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC RACK の操作」を参照してください。)

プレイモードスイッチ*

リストが収録されているグループを切り替えるスイッチです。

<例>アルバム名で検索する場合は、

ALBUM にタッチします。

*マイセレクトは、お好みに合わせて、作成したオリジナルリストが収録されます。(詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC RACK の操作」を参照してください。)

プレイリストスイッチ

各プレイモードに収録されているリスト名称を表示します。

■ トラック選択画面



トラック名称（曲名）スイッチ

各プレイリストに収録されているトラック名称（曲名）を表示します。聞きたいトラック名称（曲名）にタッチすると、再生を始めます。

■ AGENT（カテゴリ）選択画面



AGENT スイッチ

録音されているトラック（曲）をシチュエーションや年代など、カテゴリで選曲できる楽曲エージェント選択画面を表示します。

画面の表示方法については、「聞きたいトラック（曲）を選ぶ」116 ページを参照してください。

MUSIC RACK の操作

MUSIC RACK に録音するには

ここでは、内蔵のマルチチェンジャーから音楽 CD を録音する方法を説明します。

自動で録音する

デジタル録音モードを AUTO に切り替えてから操作します。

① 差し込み口に CD を差し込み、ディスプレイ部を閉じます。

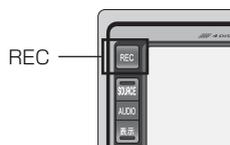
- 4 倍速で録音を開始します。スピーカーからは、通常の速さで音声が出力されます。
- 録音が完了すると、自動で録音を終了します。再生は継続します。
- 音楽 CD が複数差し込まれている場合、録音していない音楽 CD を順に録音していきます。再生は自動で切り替わりません。



お好みのトラックを録音する

デジタル録音モードを SELECT に切り替えてから操作します。

① REC を 1 秒以上押します。



② 録音するトラック（曲）を選びます。

③ 開始 にタッチします。

- 4 倍速で録音を開始します。スピーカーからは、通常の速さで音声が出力されます。
- 録音が完了すると、自動で録音を終了します。再生は継続します。（録音が完了した曲のみ）

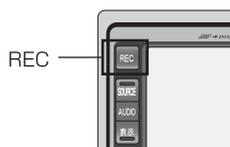


お知らせ

録音中の再生音は、MUSIC RACK に録音された音のため、CD 再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」を参照してください。

録音を途中で停止する

- 1 録音中に **REC** を 1 秒以上押します。



デジタル録音モードを切り替える

デジタル録音方式を AUTO (自動) から SELECT (手動) に切り替えることができます。

- 1 **SOURCE MENU** 画面で、**MUSIC RACK** にタッチします。



- 2 **機能** にタッチします。



- 3 **設定** にタッチします。



- 4 **SELECT** にタッチします。

- 5 **戻る** にタッチします。



MUSIC RACK の操作

MUSIC RACK を聞くには

MUSIC RACK を再生する

- 1 SOURCE MENU 画面で、**MUSIC RACK** にタッチします。
- 前回、MUSIC RACK を再生していた場合は、最後に聞いたトラック（曲）の停止したところから再生を始めます。



聞きたいトラック（曲）を選ぶ

ここでは、プレイリストやトラックをリスト表示しながら、聞きたいトラック（曲）を選ぶ方法について説明します。

- 1 再生画面で  にタッチします。



- 2 **PLAY MODE** にタッチします。
- プレイモードのタッチスイッチを表示します。



- 3 再生したいプレイモードにタッチします。
- **PLAY** にタッチすると、タッチしたプレイモードに収録されている先頭のプレイリストの一番目のトラックから再生を開始します。



プレイモード

④ 再生したいプレイリストにタッチします。

- ▶ **PLAY** にタッチすると、タッチしたプレイリストの一番目のトラックから再生を開始します。



プレイリスト

⑤ **TRACK** にタッチします。

- ⑥ 聞きたいトラック (曲) にタッチします。
- 選んだトラック (曲) の再生画面を表示します。



トラック (曲)



お知らせ

同じモード内にリストが9個以上ある場合は、▲、▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

■ 聞きたいトラック (曲) をカテゴリから選ぶ

アルバム名やタイトルなどとは別に、そのときのイメージに合わせて聞きたいトラック (曲) を選ぶことができます。

① **AGENT** にタッチします。



MUSIC RACK の操作

② 各カテゴリにタッチします。

③ **▶PLAY** にタッチします。

- 選んだカテゴリに該当する曲を再生します。



項目	対象となるトラック (曲)	
曲イメージ	パワフル	明るいイメージの曲
	普通	普通
	静か	暗いイメージの曲
シーン	シティクルーズ	ドライブで聞きたい曲
	ハイウェイクルーズ	高速道路を走行するときに聞きたい曲
	ナイトクルーズ	夜のドライブで聞きたい曲
年代	～ '60	60年代以前の曲
	'70	70年代の曲
	'80	80年代の曲
	'90	90年代の曲
	'00～	00年代以降の曲
タイアップ / イベント	テレビ / CM	TV 番組のオープニング / エンディング曲、CM ソングなど
	ドラマ / ムービー	ドラマ主題歌 / 挿入歌、映画主題歌 / 挿入歌など
	ラブソング	ラブソング
	メモリー	クリスマスやバレンタインなどにちなんだ曲
	メジャーヒット	メジャーヒットした曲

再生を止める

① **⏻/POWER** を押します。

- もう一度押すと、最後に聞いていたトラック (曲) の頭から再生を始めます。



自分だけのアルバムリストを作成してみよう

オリジナルプレイリストを作成する

お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストを作成することができます。
1つのプレイリストには最大99曲を収録することができます。
作成したプレイリストは、プレイモードのマイセレクトから探すことができます。

お知らせ

作成したプレイリストには、必ずトラック（曲）を収録してください。プレイリストを作成しても、トラック（曲）が収録されていないと、プレイリストは登録されません。

- 1 MUSIC RACK の操作画面で、**機能** にタッチします。



- 2 **編集** にタッチします。



- 3 **マイセレクトの編集** にタッチします。



■ アルバムリストに「私のベストコレクション」というタイトルを付けます。

- 4 **新規** にタッチします。



MUSIC RACK の操作

5 **タイトル** にタッチします。



6 **わ、た、し** にタッチします。



7 **変換** にタッチします。



8 **私** にタッチします。



9 **の** にタッチします。



- 10 **無変換** にタッチします。



- 11 **カナ** にタッチします。



- 12 **へ**、*****、**ス**、**ト**、**コ**、**レ**、**ク**、**シ**、**ヨ**、**ン** の順にタッチします。



- 13 **完了** にタッチします。

- 「タイトル」が登録されます。



- 14 **完了** にタッチします。



MUSIC RACK の操作

■ プレイリストにトラック（曲）を収録します。

15 **PLAY MODE** にタッチします。

16 追加したいプレイリストが収録されているプレイモードにタッチします。



17 追加したいトラック（曲）が収録されているプレイリストにタッチします。

- ▲、▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示します。



18 収録したいトラック（曲）にタッチします。

- 一度に複数のトラック（曲）を収録する場合は、収録したいトラック（曲）全てにタッチしてください。
- 追加ボタンにタッチすると、プレイリストを一覧で表示する画面にもどります。

19 **追加** にタッチします。

- 選んだトラック（曲）を作成したプレイリストの一番最後に追加します。



20 **完了** にタッチします。



- 作成したプレイリストが登録され、④の画面にもどります。



 お知らせ

MUSIC RACK は他にもいろいろな編集ができます。
詳しくは「取扱説明書オーディオ編」 - 「MUSIC RACK の操作」を参照してください。

6 TV の操作

TV を見るには

ソースを TV にする

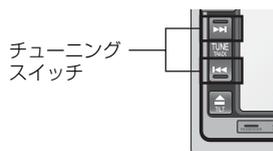
- 1 SOURCE MENU 画面で、**TV** にタッチします。



よく見る放送局を記憶させる

- 1 **▶▶**、**◀◀** を押します。

- 手動選局 軽く押すと、1ch ずつ切り替わります。
- 自動選局 "ピッ" と音がするまで押すと、自動で選局します。



- 2 プリセットスイッチを"ピーッ"と音がするまでタッチします。

- プリセットスイッチからチャンネルを選ぶときは、見たいチャンネルにタッチし、**決定** にタッチします。



プリセットスイッチ

自動で放送局を探して記憶させる

■ AUTOプリセット機能を使う

受信可能な放送局を探して、一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能です。必要がなくなれば、簡単にもとの記憶させていた放送局に切り替えることができます。

- 1 **AUTO.P** を"ピーッ"と音がするまでタッチします。

- もう一度 **AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていたチャンネルに表示が切り替わります。



二ヶ国語同時放送の音声を切り替える

音声多重放送を受信しているときに、主音声や副音声を切り替えることができます。

- 1 **設定** にタッチします。



- 2 **機能** にタッチします。

- 機能スイッチを表示します。



- 3 **主/副** にタッチします。

- ▼ にタッチすると、機能スイッチを収納します。
- 機能スイッチを表示している場合は、機能スイッチ以外のタッチスイッチ操作はできません。



お知らせ

二ヶ国語同時放送を受信したときは、**二**が表示されます。

TV の操作

複数のチャンネルを表示させる

プリセットスイッチに記憶されている放送局を 8 画面に分割して同時に表示することができます。

① 8画面 にタッチします。

- 各画面は動画、静止画の順に切り替わります。
- チャンネルにタッチすると、全画面になります。



TV を止める

① 電源/POWER を押します。

- もう一度押すと、最後に受信していたチャンネルの音声を出力します。表示 を押すと、TV 画面を表示します。



7 DVD の操作

DVD ビデオを見るには

DVD を再生する

■ DVDが差し込まれていないとき

- 1 差し込み口に DVD を差し込み、ディスクトレイ部を閉じます。

- 自動で再生を始めます。

■ DVDが差し込まれているとき

- 1 SOURCE MENU 画面で、**MULTI CHANGER** にタッチします。

- 2 **DISC CHANGE** にタッチします。

- 3 DVD が差し込まれているディスク No. にタッチします。



映像を操作する

再生中の映像を簡単に操作することができます。

- 1 操作スイッチにタッチします。

- 一時停止中 (**||**) に **▶▶** に短くタッチすると、スロー再生し、**||** に短くタッチすると、コマ送り再生します。

見たいチャプターを選ぶ

- 1 **▶▶**、**◀◀** を押します。



チャプター
切り替え
スイッチ



DVD の操作

ディスクメニューを操作する

本機は、ディスクに収録されているメニューのアイコンに直接タッチしたり、タッチスイッチを操作して、メニューを選択することができます。ディスクに収録されているメニューが自動で表示された場合は、**3** の操作をおこなってください。

- 1** **NEXT** にタッチします。



- メニューのアイコンにタッチして操作する

- 2** **ダイレクト** にタッチします。



- 3** メニューのアイコンにタッチします。



■ タッチスイッチから操作する

- ② **メニュー**、または **トップメニュー** にタッチします。



- ③ **十字キー** にタッチします。



- ④ **下**、**上**、**左**、**右** にタッチし、再生したい内容を選びます。

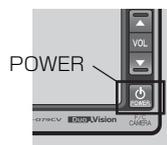
- ⑤ **決定** にタッチします。



DVD を止める

- ① **電源/POWER** を押します。

- もう一度押すと、最後に再生していた映像の音声を出力します。**表示** を押すと、DVD 画面を表示します。



8 音質の調整

音質を調整しよう

お聞きになる音楽に合わせて、擬似的に演奏会場を創り出したり、きめ細かく音質を調整することができます。また、お聞きになる位置に合わせて音場の中心を調整したり、各スピーカーの音量バランスを調整することができます。

音楽のイメージに合わせて演奏会場を再現する

① **DSP** にタッチします。

- TV、VTR のときは **設定** に、DVD のときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **DSP** が表示されます。



② お好みの音場スイッチにタッチします。

- **戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホールを再現したモード
CLUB	ディスコ、クラブを再現したモード
LIVE	ライブハウスを再現したモード
THEATER	映画館・劇場を再現したモード
CATHEDRAL	残響音の多い教会を再現したモード
OFF	DSP OFF

音楽に合わせて音質を調整する

① EQ にタッチします。

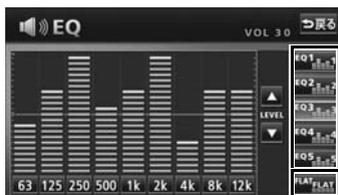
- TV、VTR のときは **設定** に、DVD のときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **EQ** が表示されます。



■ 設定されているイコライザカーブを選択する

② EQ1 ~ EQ5 にタッチします。

- **戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



タッチスイッチ	音質モードの種類	タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ 補正なし	EQ 3	JAZZ に効果のあるカーブ
EQ1	POPS に効果のあるカーブ	EQ 4	CLASSIC に効果のあるカーブ
EQ 2	ROCK に効果のあるカーブ	EQ 5	VOCAL に効果のあるカーブ

■ イコライザカーブを作成する

② お好みのイコライザカーブをイメージして、画面にタッチします。

③ EQ1 ~ EQ5 を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- タッチしたタッチスイッチに作成したイコライザカーブが記憶されます。
- **戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



音質の調整

座席に合わせて音場の中心を調整する

① POS にタッチします。

- TV、VTR のときは **設定** に、DVD のときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **POS** が表示されます。



② ポジション (シート) にタッチします。

- **戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



表示	ポジション (位置)
	運転席を 中心にした音場
	助手席を 中心にした音場
	前席を 中心にした音場
	後席を 中心にした音場



お知らせ

音量バランスの調整 (次ページ) とは、同時に設定できません。

前後左右の音量バランスを調整する

① POS にタッチします。

- TV、VTR のときは **設定** に、DVD のときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **POS** が表示されます。

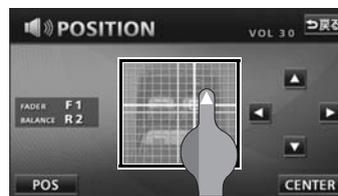


② FADER BALANCE にタッチします。



③ □内のお好みの場所にタッチします。

- **戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



🔊 お知らせ

音場の中心の調整（前ページ）とは、同時に設定できません。

9 その他の設定

スイッチの操作音（“ピッ”）を変えてみよう

パネルスイッチを押したときや、画面のタッチスイッチにタッチしたときに“ピッ”と鳴る操作音を変えたり、出なく（消音）することができます。

- 1 **情報** を押して、情報画面を呼び出します。



- 2 **設定** にタッチします。

- **設定** からはいろいろな調整ができます。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「基本操作」を参照してください。



- 3 操作音設定の **1**、**2**、**3**、**4** のいずれかにタッチします。

- **OFF** にタッチすると、操作音がでなくなります。（消音）



- 4 **設定完了** にタッチします。



画面の表示サイズを切り替えよう

TV や DVD、VTR の表示サイズを切り替えることができます。

TV の表示画面サイズを切り替える

① **設定** にタッチします。

- DVD のときは **NEXT** にタッチすると、**設定** が表示されます。



② **機能** にタッチします。

- DVD、VTR のときは、この操作はありません。



③ **ワイドモード** にタッチします。



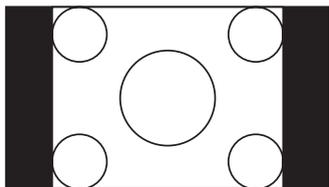
④ 切り替えたいサイズにタッチします。



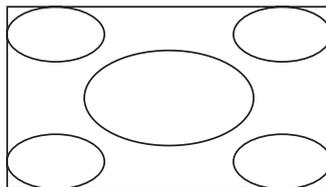
その他の設定

■ 標準画モード

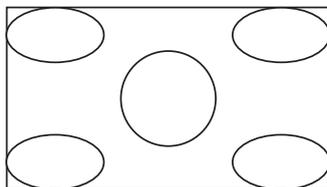
たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。

■ ワイド1画モード

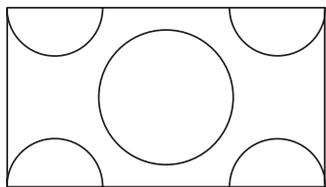
たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。

■ ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に非均等に拡大して表示されます。

■ ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。



▲ 注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

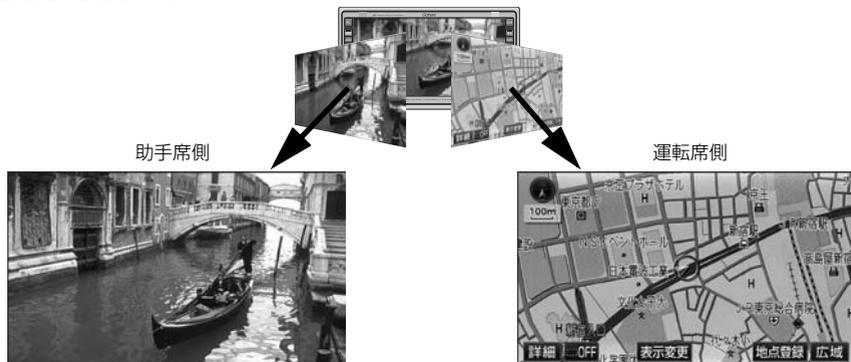
1 デュオビジョンの操作

デュオビジョンについて

本機は、デュオビジョン機能を搭載しています。

デュオビジョンをONにすると、運転席側ではナビゲーション画面、助手席側ではDVD、またはTVなどの映像を表示することができます。(DVDやTVなど、映像のソースを選んでいる場合のみ)

また、デュオビジョン機能の助手席操作モードでは、目的地の設定や、DVDメニューの切り替えなど、走行中に操作できなかった機能を助手席側で操作することができます。



お知らせ

■ デュオビジョンの画面表示について

- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。
- デュオビジョンがONのときに反対側の画面が重なって見えることがありますが、故障ではありません。特に夜間は助手席側の映像が運転席側の画面に映り込みやすくなりますので、ご注意ください。
- デュオビジョンがONのときは、正面から左右に35°(±10°)ずれた位置が最も画面を見やすくなります。画面を正面から見ると2つの画面が重なって見えますが、故障ではありません。
- デュオビジョンがONのときにスイッチを操作すると、運転席側の画面のみが切り換わります。ただし、運転席側にTV・DVD・VTRの映像を表示させている場合は、両方の画面が切り換わります。
- デュオビジョンがONのときに、パネルスイッチでDVDのチャプターやTVの放送局を切り換えると、助手席側の映像が切り換わります。
- デュオビジョンがOFFのときは、運転席側および助手席側に同じ画面が表示され、操作に応じて両方の画面が切り換わります。
- 走行中にTV・DVD・VTRの映像を表示させた場合、安全のため運転席側では映像が表示されません。
- デュオビジョンでは運転席側および助手席側に異なった画面を表示することができますが、以下のような組み合わせは表示できません。
 - ・運転席：TV・DVD・VTRの映像、助手席：ナビゲーション画面
 - ・運転席：ナビゲーション画面、助手席：運転席と異なるナビゲーション画面
 - ・運転席：TV・DVD・VTRの映像、助手席：運転席と異なるTV・DVD・VTRの映像

デュオビジョンの操作

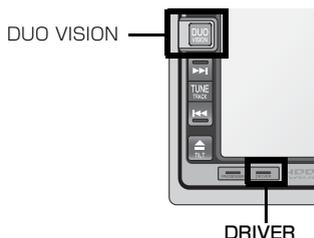
2種類の画面を同時に表示しよう

デュオビジョンを ON にすると、運転席と助手席で異なる画面を同時にご覧になることができます。

助手席側の画面では、走行中も TV、DVD、VTR をご覧になることができます。

1 DUO VISION を 1 秒以上押します。

- デュオビジョンが ON になると、“ピッピッ”と音がなり、DRIVER が青く点灯します。
- 助手席側の画面は、デュオビジョンを ON にしたときに選択されていたオーディオソースの画面になります。映像以外のソースの場合は、運転席側と同じ画面が表示されます。
- 助手席側の画面に、タッチスイッチなどは表示されません。



⚠ 注意

運転者は運転中に無理な姿勢で、助手席側の画面をのぞき込まないようにしてください。



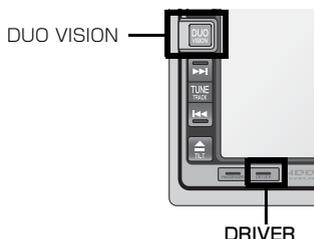
お知らせ

リアカメラの画面に切り替えた場合は、運転席側の画面および助手席側の画面が共にカメラ映像に切り替わります。

デュオビジョンを解除する

1 DUO VISION を 1 秒以上押します。

- デュオビジョンが OFF になると、“ピッ”と音がなり、DRIVER が消灯します。

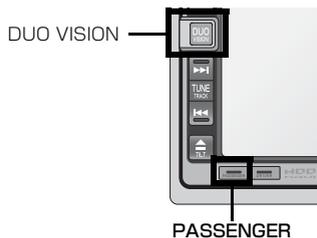


助手席操作モードを作動しよう

助手席操作モードを ON にすると、助手席側の画面にタッチスイッチが表示され、同じ画面が運転席側の画面にも表示されます。走行中の場合、運転席側の画面は青い画面に切り換わります。このとき、走行中には運転席側で操作できないスイッチも、助手席側では操作できるようになります。

① **DUO VISION** を押します。

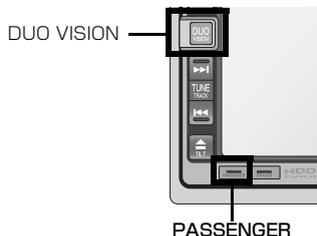
- 助手席操作モードが ON になると、**PASSENGER** が橙に点灯します。
- デュオビジョンが OFF のときに **DUO VISION** を押しても、助手席操作モードは ON になりません。



助手席操作モードを解除する

① **DUO VISION** を押します。

- 助手席操作モードが OFF になると、**PASSENGER** が消灯します。
- 助手席操作モードを OFF にすると、運転席側の画面は現在地画面に、助手席側の画面は選択されているオーディオソースの画面になります。ただし、オーディオが映像以外のソースの場合は、助手席側の画面も現在地画面になります。



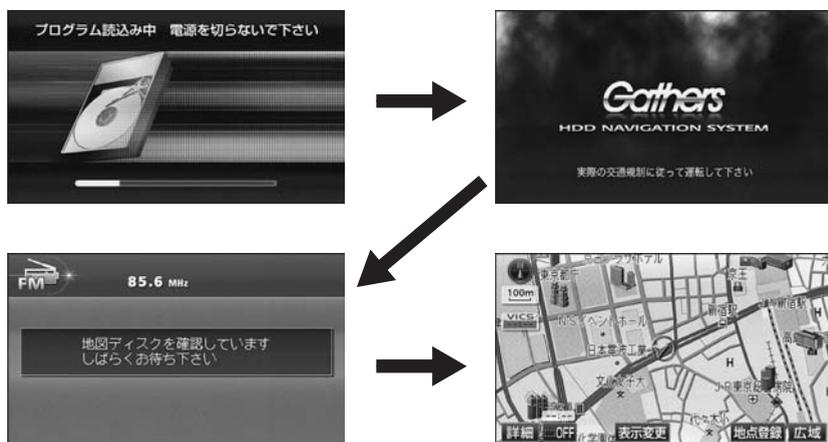
1 バッテリーの交換時

バッテリーを交換したときは

バッテリーを交換したとき（バッテリーの ⊕ ターミナルを接続）は、エンジンキーを I（ACC）、または II（ON）にするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中（約 1 分間）は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。

また、地図が表示されてから約 2 分間は、本機およびエンジンキーの操作をしないでください。

下記のように画面が変わります。



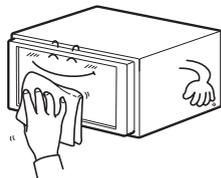
2 お手入れについて

本機やアンテナのお手入れについて

本機のお手入れについて

- 汚れをおとすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。

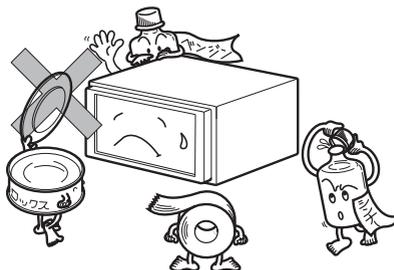
汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れについて

- GPS アンテナにワックスがけや塗装をしないでください。電波の受信感度低下や受信不能の原因になります。
- 一度、貼り付けたフィルムアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ（室内側）のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは水に薄めた中性洗剤に浸した布で乾拭きしてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってから、稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

3 本機をおゆずりになるときは

登録した内容の消去について

本機に登録した内容を消去し、本機を初期状態にもどすことができます。初期化（消去）される項目は下記になります。

項目	初期化される内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
目的地履歴	目的地を設定したときに自動で記憶される地点
ユーザーカスタマイズ	記憶させた各種ナビ設定
ショートカット	ショートカットスイッチに記憶させた機能
走行軌跡	記録した走行軌跡の表示
QQ コール	QQ コールの設定



お知らせ

- MUSIC RACKに録音された内容および保存された画像データは消去されません。MUSIC RACKの操作、または画像データの消去でデータを消去してください。（詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC RACKの操作」、「背景画の設定」を参照してください。）
- 一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。十分注意して初期化作業をおこなってください。

- 1 **情報** を押します。



- 2 **設定** にタッチします。



③ **次ページ** にタッチします。



④ 個人情報の **個人情報消去** にタッチします。

- 個人情報初期化画面が表示されます。

⑤ **初期化する** にタッチします。

⑥ **はい** にタッチします。

- 個人情報を初期化後、④ の画面にもどります。



 **お知らせ**

初期化中はオーディオの出力が停止します。初期化後、自動で音声を出力します。

4 仕様について

各仕様

GPS アンテナ

寸法	34 (W) × 13.2 (H) × 38 (D) mm
重量	約 99 (g)
供給電源電圧	4.0 ~ 5.0 (V)
消費電流	10 ~ 30 (mA)
作動温度	-30 ~ 80 (°C)
保存温度	-40 ~ 100 (°C)

テレビ・ディスプレイ

受信チャンネル	VHF1 ~ 12 チャンネル、UHF13 ~ 62 チャンネル
液晶パネル	7 型ワイド低反射パネル
画面寸法	156 (W) × 83.28 (H) mm
画素数	1,152,000 個 (800 (H) × 480 (V) × 3)
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式
動作温度範囲	-20 °C ~ +65 °C
保存温度範囲	-40 °C ~ +85 °C

ラジオ・チューナー部

受信周波数	● AM522 ~ 1,629kHz ● FM76 ~ 90MHz
実用感度	● AM22 μ V (S/N20dB) ● FM14dBf (新 IHF)
周波数特性	30 ~ 15,000Hz (FM)
ステレオセパレーション	35dB (1kHz)

CD 部

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.01% (0dB, 1kHz)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
S / N 比	90dB (1kHz)
ダイナミックレンジ	88dB

MUSIC RACK / メモリースティック部

高調波歪み率	0.3% (1kHz, 0dB, 0.5W 出力時)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
S / N 比	80dB (1kHz)

DVD 部

高調波歪み率	0.3% (1kHz、0dB、0.5W 出力時)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
S / N 比	85dB (1kHz)

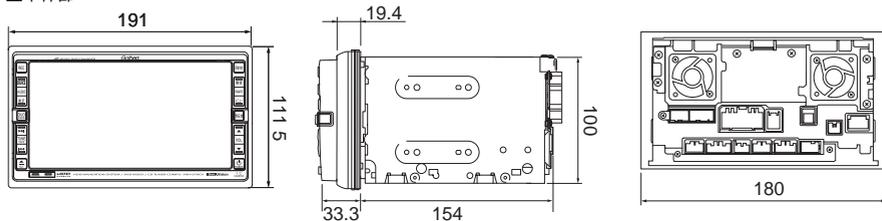
HDD (ハードディスクドライブ) 部

容量	40GB
使用温度範囲	- 10℃ ~ + 60℃

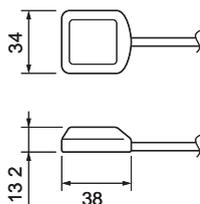
共通部

定格出力	15W × 4 (1kHz、1%4Ω) (EIAJ)
最大出力	50W × 4 (試験電圧 14.4V)
適合負荷インピーダンス	4Ω (各チャンネル)
電源電圧	DC13.2V (11-16V) アース専用
消費電流	● 0.5W × 4 出力時 約 3.5A ● 最大約 15A
外形寸法	横幅 205.5mm · 高さ 104mm · 奥行 165mm
質量 (重量)	約 3.7kg

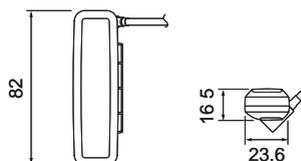
■ 本体部



■ GPSアンテナ



■ 2メディアVICS本体 (別売)



製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

MEMO

MEMO

MEMO

凡例

表示①…リアルワイドマップ画面

表示②…通常地図画面

表示①	表示②	内容
		高速・都市高・有料道路
		国道
		主要道
		県道
		その他の道路(巾5.5m 以上)
		その他の道路(巾3.0m 以上)
		トンネルまたは整備計画区間 (上記各道路で表示あり)
		私鉄
		JR
		水域
		都道府県界
		緑地
		駅舎・敷地
		踏切
		ボトルネック踏切*
		官公庁
		都道府県庁
		市役所・東京23区役所
		町村・東京以外区役所
		警察署
		消防署
		郵便局
		インターチェンジ
		サービスエリア
		パーキングエリア
		信号機
		駐車場
		駅
		道の駅
		フェリーターミナル
		港湾
		空港・飛行場
		学校

表示①	表示②	内容
		幼稚園
		病院・医院
		電力会社・発電所
		電話局
		銀行・信用金庫・農協
		デパートなど
		ホテル・旅館など
		ビル
		工場
		灯台
		神社
		寺院
		教会
		霊園・墓地
		城・城跡
		名所・観光地など
		ゴルフ場
		スキー場
		海水浴場
		アイススケート場
		マリーナ・ヨットハーバー
		陸上競技場・体育館
		キャンプ場
		公園
		温泉
		山
		ホンダプリモ店
		ホンダクリオ店
		ホンダベルノ店
		ホンダ店
		その他の施設

※列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏み切り。

- 表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。
- VICS情報表示中は、道路の色が異なります。(対象一般道：緑、対象高速道：紫)

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎ 0120-663521

(受付時間 9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日は除く)

販売元 株式会社 ホンダ アクセス 〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番4号
製造元 富士通テン株式会社 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号